



平成29年度

川崎市岡本太郎美術館年報

ANNUAL REPORT 2017.4-2018.3

目次

I. 事業報告

1. 企画展

「岡本太郎×建築—衝突と協同のダイナミズム」展	1
「岡本太郎と遊ぶ」展 PLAY with TARO	10
「岡本太郎とメディアアート」展	15
「第21回 岡本太郎現代芸術賞（TARO賞）」展	20

2. 常設展

「岡本太郎—赤の衝動—」展	23
「岡本太郎と巴里」展	27
「敏子さん、岡本太郎のことおしえて。」展	30

3. パフォーマンス・学会発表等

「26人のパン人間の処刑」川崎市岡本太郎美術館 2017	34
------------------------------	----

4. 共催協力企画展

5. 収集・保存・貸出

収集作品及び資料（購入）
寄贈作品・資料／作品額装／作品修復
貸出作品及び資料

6. 情報・刊行物

刊行物

7. 教育・普及事業

イベント・ワークショップ

団体利用実績

教育プログラム

館外普及活動

教材開発と利用

美術館教育研究会

8. 川崎市文化芸術振興会議施設部会

II. 資料

1. 入館者数統計	55
平成 29 年度 月別入館者数	
年度別入館者数	
2. 美術館事業 予算・決算概要	58
予算概要	
決算概要	

III. 組織名簿

1. 川崎市文化芸術振興会議施設部会 委員名簿
2. 川崎市岡本太郎美術館 職員名簿

IV. 川崎市岡本太郎美術館概要

1. 美術館の目的
2. 美術館事業内容
3. 美術館沿革
4. 施設・設備概要

V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則

1. 条例
2. 条例施行規則

I. 事業報告

1. 企画展

「岡本太郎×建築—衝突と協同のダイナミズム」展

会 期	2017 年 4 月 22 日（土）～7 月 2 日（日）
開催日数	62 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協 賛	ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網
協 力	株式会社サカワ、株式会社堀内カラー、独立行政法人日本スポーツ振興センター
観 覧 料	一般 1000（800）円、高・大学生・65 歳以上 800（640）円、中学生以下無料

※カッコ内は 20 名以上の団体料金

入場者数	17,120 名
1 日 平 均	276 名
図 録	A5 変形
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	232 点
担 当 者	佐藤玲子、木下紗耶子



ポスター



図録

【開催趣旨】

1964 年、アジアで初めてのオリンピック開催にわきたつ東京。丹下健三の名作である国立屋内総合競技場（現・国立代々木競技場）は、吊り構造の屋根をもったダイナミックな美しい造形で、この祭典の象徴となった建築でした。岡本太郎はこの競技場のために、色鮮やかな陶板壁画のシリーズを制作しています。岡本にとって丹下健三とのコラボレーションは、1957 年の旧東京都庁舎での壁画連作、東京オリンピック、そして 1970 年の日本万国博覧会での「大屋根」と「太陽の塔」へとつながっていく、高度経済成長期のまさに国家的プロジェクトというべき大舞台になりました。

壁画やモニュメントを数多くのこした岡本ですが、それらは親しく交流した建築家たちとの関係から生まれたものが少なくありません。丹下健三をはじめ、1930 年代からの知己である坂倉準三や、アントニン・レーモンド、磯崎新といった建築家たちとの関わりや協同のなかで、岡本太郎の仕事は「美術」の枠を大きく超えて、豊かな広がりを獲得しえたのでしょうか。本展は、日本が大きく飛躍をした時代、共に「伝統」と「創造」について議論し、都市と時代を見つめた岡本太郎と建築家たちの交流に焦点をあて、建築と美術の協同の一つのかたちについて再考する試みとなります。



展示風景 ©Nacása & Partners Inc. FUTA Moriishi

【主要関連記事・TV・ラジオ放送】

- 青野尚子「建築好き必見！ 「岡本太郎×建築」展」Pen Online／Blog 2017 年 5 月 11 日 [展評]
森田睦「Culture 岡本太郎 建築家との交流」『読売新聞』2017 年 6 月 3 日（土）夕刊 [展評]
村田真「評 引き合い 反発し合う関係性」『朝日新聞』2017 年 6 月 12 日（火）夕刊 [展評]
永田晶子「異才が競い 広げた創造 企画展「岡本太郎×建築」開催中」『毎日新聞』2017 年 6 月 13 日（火） [展評]
無記名「「岡本太郎×建築」展に見る今日的課題」『建設通信新聞』2017 年 6 月 14 日（水） [展評]
柏崎幸三「時代に求められた奇想 交友で広がる作品世界」『産経新聞』2017 年 6 月 18 日（日） [展評]
無記名「岡本太郎を軸に、日本の戦後建築史を巡る。」Casabrutus.com 2017 年 6 月 19 日（日） [展評]

【関連事業】

■レクチャーシリーズ「建築とアート」

「岡本太郎×建築」展にあわせて、建築家やアーティストとして現場で活躍しているゲストを招き、岡本太郎と建築や写真について建築家・藤原徹平氏との対談形式のレクチャーを行いました。企画・司会＝藤原徹平（本展会場構成）

■第 1 回 鈴木了二（建築家）

タイトル：都市の亡霊性

日時：2017 年 5 月 13 日（土）14 時～

会場：ガイダンスホール

参加者：65 名



■第 2 回 青木淳（建築家）

日時：2017 年 5 月 20 日（土）14 時～

会場：ガイダンスホール

参加者：54 名



■第 3 回 中山英之（建築家）

タイトル：建築のおぼけごっこ

日時：2017 年 5 月 27 日（土）14 時～

会場：ガイダンスホール

参加者：59 名



■第 4 回 名和晃平（彫刻家）

日時：2017 年 6 月 3 日（土）14 時～

会場：ガイダンスホール

参加者：61 名



■ワークショップ まちをつくろう—ぼくらのいこい島—

1957 年に岡本太郎が雑誌『総合』に発表した「ぼくらの都市計画」として発表した「いこい島」計画は、アーティストならではのイマジネーション豊かな構想です。岡本太郎の考えた「いこい島」に見立てて、みんなで自由に街をつくるワークショップを行いました。

日時：2017 年 5 月 5 日（金祝）、6 日（土） 13 時～16 時

場所：岡本太郎美術館 ギャラリー

参加者：合計 142 名（内訳：98 名（5 日）、54 名（6 日））



■映像上映

1964 年に完成した国立代々木競技場の貴重な建設記録映像や、1970 年の日本万国博覧会「太陽の塔」の制作記録フィルムなど、秘蔵映像の上映を行いました。

「かわった形の体育館（総集編）」1964 年（資料提供：清水建設株式会社） 約 20 分

「日本万国博覧会 1970 年テーマ館「太陽の塔」制作記念フィルム」 約 35 分

日時：4 月 22 日（土）、4 月 30 日（日）、6 月 25 日（日） 14:30～

7 月 1 日（土）、7 月 2 日（日） 11:00～、14:30～

会場：美術館ガイダンスホール

参加者：計 389 名

【出品リスト】

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状	所蔵（記載の無いものは岡本太郎美術館蔵）
1 章					
1	群像	岡本太郎	1951	モザイクタイル	岡本太郎記念館
2	太陽の神話	岡本太郎	1952	モザイクタイル	大和証券グループ本社
3	壁画下絵	岡本太郎	1952 年頃	鉛筆、水彩、紙	岡本太郎記念館
4	創生（原画）	岡本太郎	1952 年	油彩、キャンバス	高島屋史料館
5	日本橋店新装地下通路壁画原画	岡本太郎	1952 年頃	油彩、キャンバス	高島屋史料館
6	ダンス（デッサン）	岡本太郎	1952	鉛筆、紙	岡本太郎記念館
7	ダンス（エスキース）	岡本太郎	1952	油彩、キャンバス	岡本太郎記念館
8	岡本太郎邸 立面図・展開図	坂倉準三建築研究所	1954 年頃	鉛筆、インク、トレーシングペーパー	国立近現代建築資料館
9	岡本太郎邸 立面図	坂倉準三建築研究所	1953-54	〃	岡本太郎記念館
10	岡本太郎邸 南面姿図・北面姿図	坂倉準三建築研究所	1953-54	〃	岡本太郎記念館
11	岡本太郎邸 屋根図	坂倉準三建築研究所	1953-54	青焼き図	岡本太郎記念館
12	岡本太郎邸 立面図・断面図	坂倉準三建築研究所	1953-54	〃	岡本太郎記念館
13	岡本太郎邸 1 階平面図	坂倉準三建築研究所	1953-54	〃	岡本太郎記念館
14	岡本太郎邸 2 階平面図	坂倉準三建築研究所	1953-54	〃	岡本太郎記念館
15	岡本太郎邸 暗室家具図	坂倉準三建築研究所	1953-54	〃	岡本太郎記念館
16	岡本太郎邸 暗室平面図	坂倉準三建築研究所	1953-54	〃	岡本太郎記念館
17	岡本太郎邸 岡本アトリエ工事工程表	坂倉準三建築研究所	1953-54	〃	岡本太郎記念館
18	岡本太郎邸模型	横浜国立大学理工学部 建築都市・環境系学科 建築 EP 伊神空	2017	〃	
19	「選択・伝統・創造」展カタログ	シャルロット・ベリアン、 坂倉準三著/小山書店	1941	書籍	国立近現代建築資料館
20	「ル・コルビュジエ、レジェ、ベリアン 3 人」展 カタログ	高島屋	1955	書籍	国立近現代建築資料館
21	「ル・コルビュジエ、レジェ、ベリアン 3 人」展 会場構成図面	シャルロット・ベリアン	1954 年頃	印刷物	高島屋史料館
22	「ル・コルビュジエ、レジェ、ベリアン 3 人」展 会場構成図面	シャルロット・ベリアン	1953-54 年	青焼き図	高島屋史料館
23	外部に倦怠が漲る	ル・コルビュジエ	1955	タペストリー	高島屋史料館
24	坂倉準三肉筆原稿（「ル・コルビュジエ、レジェ、ベリアン 3 人」展を開くに当って）	シャルロット・ベリアン、 坂倉準三手稿	1955		個人蔵
25	モンパルナス墓地よりラスバイユ大通りをのぞむ	坂倉準三	1930 年代	インク、紙	個人蔵
26	ピカソの犬	坂倉準三	1938	色鉛筆、紙	個人蔵
27	箱根丸 アデン湾近くにて	坂倉準三	1939	〃	個人蔵
28	第 11 回ミラノトリエンナーレ会場写真		1957	〃	国立近現代建築資料館
29	現代芸術研究所の設立の趣旨		1954 年頃	印画紙	
30	「第 2 期現代芸術講座」ポスター		1955	印刷物	

31	第一期現代芸術講座規則書		1955	〃	
32	第二期現代芸術講座申込書		1955	〃	
33	現代芸術の会ニュース No.1		1956年1月	〃	
34	現代芸術ニュース No.1		1956年3月	〃	
35	現代芸術ニュース No.2		1956年2月	〃	
36	現代芸術ニュース No.3		1956年3月	〃	
37	アートクラブ日本支部規約	アートクラブ事務局	1956年4月	〃	
38	アートクラブ機関紙 アート No.3	アートクラブ事務局	1955年5月	〃	
II章					
1	日の壁（原画）	岡本太郎	1956	油彩、キャンバス	岡本太郎記念館
2	日の壁（エスキース）	岡本太郎	1956	〃	岡本太郎記念館
3	月の壁（原画）	岡本太郎	1956	〃	板橋区立美術館
4	青（原画）	岡本太郎	1956	〃	岡本太郎記念館
5	緑（原画）	岡本太郎	1956	〃	岡本太郎記念館
6	建設（原画）	岡本太郎	1956	〃	岡本太郎記念館
7	赤	岡本太郎	1961	〃	
8	日の壁（石膏原型）	岡本太郎	1956	石膏	岡本太郎記念館
9	月の壁（レプリカ）	岡本太郎	1956/1991	FRP	
10	日の壁（原寸大レプリカ・部分）	岡本太郎	1991	FRP	岡本太郎記念館
11	日の壁（ドローイング）	岡本太郎	1956	鉛筆、墨、紙	岡本太郎記念館
12	月の壁（ドローイング）	岡本太郎	1956	鉛筆、墨、紙	岡本太郎記念館
13	建設（ドローイング）	岡本太郎	1956	鉛筆、墨、水彩、紙	岡本太郎記念館
14	赤・青・黄・緑（ドローイング）	岡本太郎	1956	鉛筆、紙	岡本太郎記念館
15	旧東京都庁舎のためのドローイング	岡本太郎	1952-1957	鉛筆、紙（ノート）	岡本太郎記念館
16	旧丸の内 都庁第一本庁舎 模型	植野石膏模型製作所	1952-1957	石膏、ガラス、金属	東京都公文書館
17	旧東京都庁舎 断面図	丹下健三計画研究室、 岡本太郎	1956	青焼き図	岡本太郎記念館
18	旧東京都庁舎 赤の壁	丹下健三計画研究室	1956	青焼き図	岡本太郎記念館
19	旧東京都庁舎 青の壁	丹下健三計画研究室	1952-1957	青焼き図、鉛筆	岡本太郎記念館
20	旧東京都庁舎 黄の壁	丹下健三計画研究室	1956	青焼き図	岡本太郎記念館
21	旧東京都庁舎 中二階平面図	丹下健三計画研究室	1956	青焼き図	岡本太郎記念館
22	玄関ホール廻り、カウンター・ベンチ・ 花台及集会室椅子	丹下健三計画研究室	1956	青焼き図	岡本太郎記念館
23	旧東京都庁舎 本館全館平面図（案）	丹下健三計画研究室	1956	青焼き図、色鉛筆	岡本太郎記念館
24	旧東京都庁舎 1階平面図	丹下健三計画研究室	1955	青焼き図	岡本太郎記念館
25	旧東京都庁舎 中2階ホール平面図	丹下健三計画研究室	1952-1957	青焼き図、色鉛筆	岡本太郎記念館
26	旧東京都庁舎 1階玄関ホール平面図	丹下健三計画研究室	1952-1957	青焼き図	岡本太郎記念館

27	旧東京都庁舎のためのドローイング	制作者不詳	1952-1957	青焼き図	岡本太郎記念館
28	旧東京都庁舎のためのドローイング	制作者不詳	1952-1957	青焼き図	岡本太郎記念館
29	旧東京都庁舎のためのドローイング	制作者不詳	1952-1957	鉛筆、紙	岡本太郎記念館
30	足（原画）	岡本太郎	1952-1957	色鉛筆、紙	岡本太郎記念館
31	手（原画）	岡本太郎	1952-1957	鉛筆、インク、紙	岡本太郎記念館
32	眼（エスキース）	岡本太郎	1964	油彩、キャンバス	岡本太郎記念館
33	「足」のためのドローイング	岡本太郎	1964	油彩、キャンバス	岡本太郎記念館
34	「眼」のためのドローイング	岡本太郎	制作年代不詳	油彩、キャンバス	岡本太郎記念館
35	「手」のためのドローイング	岡本太郎	1964	紙、鉛筆	岡本太郎記念館
36	国立屋内総合競技場 模型	制作：石黒建築模型	1964	紙、鉛筆	岡本太郎記念館
37	国立屋内総合競技場 第一体育館メインロープ円錐面回転サドル模型	坪井善勝研究室	1964	紙、鉛筆	岡本太郎記念館
38	国立屋内総合競技場設計図構造設計図	丹下健三+都市建築設計 研究室、坪井善勝研究室	1963	木	秩父宮記念スポーツ博 物館
39	S ロビー展開図	丹下健三+都市・建築 設計研究所、岡本太郎	1962	木に塗装	川口衛構造設計事務所
40	国立屋内総合競技場 壁画型紙	岡本太郎	1962	紙、青焼き図	独立行政法人日本スポ ーツ振興センター
41	『かわった形の体育館』	清水建設株式会社	1964	青焼き図、鉛筆	岡本太郎記念館
42	東京オリンピック 公式ポスター 第 2 号ポスター	アートディレクション：亀倉雄策 フォトディレクション：村越襄 撮影：早崎治	1964	紙、インク	岡本太郎記念館
43	東京オリンピック 公式ポスター 第 3 号ポスター	アートディレクション：亀倉雄策 フォトディレクション：村越襄 撮影：早崎治	1964	DVD	清水建設株式会社
44	東京オリンピック参加記念メダル	岡本太郎	1962 年	印刷物	秩父宮スポーツ博物館
45	陶製椅子	丹下健三計画研究室	1963 年	印刷物	秩父宮スポーツ博物館
46	犬	岡本太郎	1964	ブロンズ	
47	犬の植木鉢	岡本太郎	1955-1958	陶器	個人蔵
48	丹下健三自画像スケッチ	丹下健三	1955	陶器	個人蔵
49	丹下健三手帳（国立屋内総合競技場スケッチ）	丹下健三	1955	陶器	
50	丹下健三手帳（旧東京都庁舎スケッチ）	丹下健三	1953	インク、紙	個人蔵
51	旧東京都庁舎 断面図	丹下健三計画研究室、 岡本太郎	1962	インク、紙	個人蔵
52	旧東京都庁舎 赤の壁	丹下健三計画研究室	1952	インク、紙	個人蔵
Ⅲ章					
1	デブス邸茶室 浴室矩計	ANTONIN F.A.I.A	RAYMOND 1962	トレーシングペーパー、 鉛筆	レーモンド設計事務所
2	デブス邸茶室 浴室平面詳細	ANTONIN F.A.I.A	RAYMOND 1962	〃	レーモンド設計事務所
3	デブス邸茶室 浴室断面詳細図-2	ANTONIN F.A.I.A	RAYMOND 1962	〃	レーモンド設計事務所

4	デッブス邸茶室 PLOT PLAN (2)	ANTONIN F.A.I.A	RAYMOND	1962	〃	レーモンド設計事務所
5	デッブス邸茶室 PLAN & FINISH SCEDULES OF TEA HOUSE	ANTONIN F.A.I.A	RAYMOND	1962	〃	レーモンド設計事務所
6	デッブス邸茶室 配置図、案内図 PLAN (1)	ANTONIN F.A.I.A	RAYMOND	1962	〃	レーモンド設計事務所
7	デッブス邸茶室 TEA HOUSE ELEVATIONS & SECTIONS	ANTONIN F.A.I.A	RAYMOND	1962	〃	レーモンド設計事務所
8	デッブス邸茶室 POOL DETAILS	ANTONIN F.A.I.A	RAYMOND	1962	〃	レーモンド設計事務所
9	デッブス邸茶室 BARBECUE PLAN ELEVATIONS & DETAILS	ANTONIN F.A.I.A	RAYMOND	1962	〃	レーモンド設計事務所
10	デッブス邸茶室 浴槽デザインスケッチ BATH ROOM PERSPECTIVES	岡本太郎、 ANTONIN F.A.I.A	RAYMOND	1962	青焼き図、鉛筆	岡本太郎記念館
11	デッブス邸茶室 BATH ROOM DETAILS	ANTONIN F.A.I.A	RAYMOND	1962	青焼き図	岡本太郎記念館
12	デッブス邸茶室 PLOT PLAN	ANTONIN F.A.I.A	RAYMOND	1962	〃	岡本太郎記念館
13	デッブス邸茶室 POOL DETAILS	ANTONIN F.A.I.A	RAYMOND	1962	〃	岡本太郎記念館
14	デッブス邸茶室 TEA HOUSE ELEVATIONS & SECTIONS	ANTONIN F.A.I.A	RAYMOND	1962	〃	岡本太郎記念館
15	赤星邸 LIVING ROOM FURNITURE OF MR. AKABOSHI'S VILLA	ANTONIN F.A.I.A	RAYMOND	1931	トレーシングペーパー、 鉛筆	レーモンド設計事務所
16	デッブス邸茶室 浴室構成のためのドローイング	岡本太郎		1962	鉛筆、紙	岡本太郎記念館
17	アブストラクション No.2	アントニン・レーモンド		1970	油彩、キャンバス	レーモンド設計事務所
18	コンポジション	アントニン・レーモンド		1959	グアッシュ、紙	レーモンド設計事務所
19	抽象	アントニン・レーモンド		不詳	グアッシュ、紙	個人蔵
20	抽象	アントニン・レーモンド		不詳	マーカー、紙	個人蔵
21	庭園装飾	アントニン・レーモンド		1959	陶	個人蔵
22	無題	アントニン・レーモンド		不詳	陶	個人蔵
23	無題	アントニン・レーモンド		不詳	陶器	レーモンド設計事務所
24	無題	アントニン・レーモンド		1951	鉛筆、紙	個人蔵
25	無題 3点	ノエミ・レーモンド		不詳	インク、紙	個人蔵
26	1910年代~70年代のドローイング・水彩	アントニン・レーモンド		不詳	絵具、紙ほか	個人蔵
27	三角椅子	ノエミ・レーモンド		不詳	オーク	レーモンド設計事務所
28	赤星邸椅子	ノエミ・レーモンド		不詳	金属、ラタン	レーモンド設計事務所
29	坐ることを拒否する椅子 2点	岡本太郎		1963	陶	レーモンド設計事務所
30	Hommage a Antonin Raymond 展 図録			1974	書籍	
31	岡本太郎旧蔵 8mmフィルムより	編集：川崎市岡本太郎美術館		不詳	書籍	

IV 章

1	「ぼくらの都市計画」『総合』	岡本太郎、丹下健三、勅使河原蒼風、安部公房、糸川英夫、石川充	1957 年 6 月	デジタル出力	
2	東京計画 1960	丹下健三研究室 撮影：川澄明男氏	1960	デジタル出力	写真提供：川澄・小林 研二写真事務所
3	東京計画 1960 その構造改革の提案	丹下健三研究室 (丹下健三、神谷宏治、磯崎新、渡辺定夫、黒川紀章、康炳基)	1961	印刷物	東京都公文書館

V 章

1	装える戦士	岡本太郎	1962	油彩、キャンバス	
2	想念	岡本太郎	1962	油彩、キャンバス	
3	まひるの生物	岡本太郎	1962	油彩、キャンバス	
4	岡本太郎展図録	レイアウト：杉浦康平	1964	印刷物	
5	岡本太郎展ポスター		1964	シルクスクリーン	

VI 章

1	光る彫刻・生誕	岡本太郎	1967	FRP	
2	マミ会館 模型	岡本太郎	1968	FRP	
3	マミ会館 (ドローイング)	岡本太郎	1967	鉛筆、紙	
4	マミ会館施工図面	間組技術局建築設計部	1968	青焼き図	
5	明日の神話	岡本太郎	1968	油彩・キャンバス	
6	ふたたび廃墟になったヒロシマ	磯崎新	1968/1991 年	デジタル出力、パネル	磯崎新アトリエ
7	24 時間都市	岡本太郎	1969/2017 年	デジタルデータ	
8	24 時間都市 (冊子)	岡本太郎他	1969	印刷物	現代芸術アトリエ
9	建築模型写真	岡本太郎、現代芸術研究所	1969 年頃	印画紙	

VII 章

1	テーマ館 構想スケッチ	岡本太郎	1967	紙、鉛筆	
2	テーマ館 構想スケッチ	不詳	1967	紙、鉛筆	
3	テーマ館 構想図	不詳	1967	青焼き図	
4	太陽の塔 構想スケッチ	岡本太郎	1967	紙、鉛筆	岡本太郎記念館
5	大屋根 構想スケッチ	不詳	1967	紙、インク	岡本太郎記念館
6	青春の塔、母の塔、お祭り広場 構想スケッチ	岡本太郎	1967	紙、鉛筆	岡本太郎記念館
7	テーマ館展示 構想スケッチ	岡本太郎	1967	紙、鉛筆	岡本太郎記念館
8	万国博お祭り広場建築工事の内大屋根部財団法人日本万国博覧会協会 材製作追加工事大屋根伏図 及 リスト		1968	青焼き図	
9	万国博お祭り広場建築工事の内大屋根部財団法人日本万国博覧会協会 材製作追加工事 軸組図		1968	青焼き図	
10	EXPO'70 テーマ展示計画	財団法人日本万国博覧会協会	1968	青焼き図	岡本太郎記念館

11	万国博テーマの塔建築のうち太陽の塔 および母の塔新築工事 原設計縮図	財団法人日本万国博覧会協会 1968		青焼き図	
12	万国博テーマの塔建築のうち太陽の塔 および母の塔新築工事 しゅん工図	財団法人日本万国博覧会協会 1970		青焼き図	
13	生命の樹	財団法人日本万国博覧会協会 不詳		青焼き図	岡本太郎記念館
14	大屋根構造模型	川口衛構造設計事務所 1970		木、竹ひご	川口衛構造設計事務所
15	日本万国博覧会 会場模型全景 1:1500	1970 年		ミクストメディア	大阪府日本万国博覧会 記念公園事務所
16	日本万国博覧会お祭り広場大屋根 ボール・ジョイント模型	川口衛構造設計事務所 1968		木	川口衛構造設計事務所
17	日本万国博覧会お祭り広場大屋根 リフトアップ装置スタディー模型	川口衛構造設計事務所 1968		紙	川口衛構造設計事務所
18	お祭り広場大屋根・軸組模型	横浜国立大学理工学 部建築都市・環境系学 科建築 EP 池谷浩樹	1970/2017	ミクストメディア	
19	太陽の塔	岡本太郎	1970	FRP	
20	ノン	岡本太郎	1970	FRP	
21	樹壺	岡本太郎	1970	FRP	
22	万博テーマ館の鍵	岡本太郎	1970	FRP	
23	日本万国博覧会 1970 年テーマ館 「太陽の塔」制作記念フィルム	編集：川崎市岡本太郎 美術館	1970/2017	デジタルデータ	

企画展

「岡本太郎と遊ぶ」展 PLAY with TARO

会 期	2017 年 7 月 15 日 (土) ~ 10 月 15 日 (日)
開催日数	80 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
観 覧 料	一般 900 (720) 円、高・大学生・65 歳以上 700 (560) 円、 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入 場 者 数	19,645 名
1 日 平 均	246 名(小数点以下、四捨五入)
図 録	A5
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	123 点
担 当 者	片岡香、飯島祥平、橋本文恵



図録



チラシ



リーフレット



報告書

【開催趣旨】

岡本太郎は「遊び」について、『遊び』と『お遊び』とは全然違う。『遊び』は真剣な、全人間的な、つまり命のすべてをぶつけての無償の行為だ。」と語っています。

岡本太郎にとって「遊び」とは、自分自身の芸術活動そのものだったともいえるでしょう。岡本が命のすべてをぶつけて生み出した作品と、その作品に向き合う私たちも、真剣に遊ぶ展覧会にしたいと思い開催しました。

本展では、「岡本太郎と遊ぶ」をキーワードに、岡本の作品を紹介するとともに、「字は絵だろ」と言った岡本が自由な感性で描いた「遊ぶ字」をご紹介します。

また本展では、体のさまざまな感覚をつかって作品を鑑賞する試みを行いました。展示室内に「さわって遊ぶ」「おと・リズムで遊ぶ」「ことばで遊ぶ」「仮面で遊ぶ」「において遊ぶ」「遊ぶ字に挑戦!」といったテーマで、五感をつかって太郎作品に挑戦する体験コーナーを設け、会期中会場内でいつでも体験することができるようになりました。また、会期中には関連イベントとして、それぞれのコーナーで協力いただいた作家の方々によるワークショップを行いました。



展示風景

【主要関連記事・TV・ラジオ放送】

- 『「遊ぶ字」と遊ぶ』岡本太郎美術館で企画展『神奈川新聞』、2017 年 8 月 2 日
- 「MORIBUILDING TOKYO PASSPORT 「岡本太郎と遊ぶ」展紹介」J-WAVE、8 月 8 日
- 「触ってたいてい岡本太郎と遊ぶ 太郎美術館で体験型企画展」東京新聞 WEB 版、8 月 13 日
- 「強烈なインパクトを放つ岡本太郎の作品を、遊んで鑑賞する特別展」レジャー紹介サイト「Wowful」、8 月 31 日
- 「岡本太郎と遊ぶ展」ぶらりアート (WEB)、9 月 3 日
- 「『神奈川美の手帖』川崎市岡本太郎美術館『岡本太郎と遊ぶ』展」産経ニュース (WEB)、9 月 26 日

【関連事業】

■「おと・リズムで遊ぶ」

企画展示室の太郎作品の前で、ジェンベ（アフリカの太鼓）などを使ってアフリカのリズムを感じてもらう自由参加型のイベントを行いました。

日 時 2017 年 7 月 23 日（日）、30 日（日） 各日 14:00～16:00
場 所 企画展示室
出 演 BB モフラン（劇団四季ライオンキング初代打楽器奏者）、
たたら康恵（音楽療法士）
料 金 無料（要観覧料）
参加人数 187 名（2 日間）



■「太郎とアフリカ文化」

モフランさんとたたらさんによるコンサートを行いました。

アフリカの曲の演奏とともに、フランスで青春を過ごした太郎にちなみ、フランスの曲も演奏していただきました。

日 時 2017 年 9 月 24 日（日） 14:00～15:00
場 所 ギャラリースペース
出 演 BB モフラン（劇団四季ライオンキング初代打楽器奏者）、
たたら康恵（音楽療法士）
料 金 無料
参加人数 127 名



■「にoidで遊ぶ」

展示室に置かれたさまざまな「にoid」をかぎ、太郎が描いた「遊ぶ字」とにoidの組み合わせから想像する思い出やエピソードを参加者どうして語り合いました。

日 時 2017 年 8 月 6 日（日） 13:30～15:30
場 所 企画展示室
講 師 井上尚子（美術作家）
協 力 飯島さやか、遠藤初穂、林恵美、山口日菜子、渡辺はるか
対 象 4 歳以上（10 歳までは保護者同伴）
料 金 無料（要観覧料）
参加人数 23 名



■「ことばで遊ぶ」

「数字で短歌をつくろう」

1,2,3 の数字を使って数字短歌をつくります。短歌の「しらべ」を感じるユニークな創作短歌に挑戦しました。参加者がそれぞれ良いと思った短歌を選び、人気投票上位 2 首に選ばれた短歌を絵画で表現しました。

日 時 2017 年 7 月 17 日（月祝） 14:00～16:00
場 所 創作アトリエ
講 師 田中庸介（詩人）
対 象 小学生以上
料 金 無料
参加人数 10 名



「爆発的な詩と漫画に挑戦！」

展示室の体験コーナーでつくられた2種類の2行詩を組み合わせて4行詩をつくり、できた詩のイメージを漫画にしました。

日 時 2017年8月11日(金祝) 10:00~15:00
場 所 創作アトリエ
講 師 田中庸介(詩人)、横山裕一(漫画家/美術家)
対 象 15歳以上
料 金 1,000円(観覧料含む)
参加人数 11名



「ことばで遊ぶ+トーク」

展示会の「ことばで遊ぶ」コーナーの全体発表会。本コーナーにご協力いただいた田中庸介さんと横山裕一さんに、展示会や会期中のワークショップを統括するお話をうかがいました。

日 時 2017年10月1日(日) 14:00~16:00
場 所 ガイダンスホール
講 師 田中庸介(詩人)、横山裕一(漫画家/美術家)
料 金 無料
参加人数 19名



■「仮面で遊ぶ」

仮面の役割って何だろう?様々な文化を学びながら、本格的な仮面を作って、展示室でパフォーマンスをしました。

日 時 2017年9月3日(日) 10:00~15:00
場 所 創作アトリエ、「母の塔」下、企画展示室
講 師 酒井貴史(美術作家)
対 象 18歳以上
料 金 1,500円(観覧料含む)
参加人数 23名



■「太郎と遊ぶ」

「太郎作品をさわって遊ぶ」

アイマスクをして触覚だけで太郎作品を鑑賞し感じたことを言葉に表したりグループで共有しあったりした後、感じたものを一人一人が平面や立体の形で表しました。

日 時 2017年8月13日(日)、9月10日(日) 各日13:00~16:00
場 所 企画展示室、創作アトリエ
講 師 チーム☆TARO(NPO ARDA)
対 象 小学3年生以上
料 金 無料(要観覧料)
参加人数 8月13日:27名、9月10日:17名



「TARO 型作品鑑賞」

「タロウさんはなんでこんな作品をつくったのかな？」と岡本太郎になりきって考えると…。感じたり考えたりしたことを言葉にして対話をしたり学芸員から岡本太郎の内面を知るヒントや思想を聞いたりしながら作品を鑑賞しました。

日 時 2017 年 9 月 17 日 (日) 14:00～15:30
場 所 常設展示室、企画展示室、ガイダンスホール
講 師 チーム☆TARO (NPO ARDA)
対 象 18 歳以上
料 金 無料 (要観覧料)
参加人数 12 名



■会期中毎日開催！

「さわって遊ぶ」「おと・リズムで遊ぶ」「ことばで遊ぶ」「仮面で遊ぶ」「において遊ぶ」「遊ぶ字に挑戦！」

会場内に、太郎さんの作品と関連した体験コーナーを常設しました。会期中毎日、開館時間中に随時体験していただきました。

場 所 企画展示室
対 象 どなたでも
料 金 無料 (要観覧料)

【出品リスト】

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状	所蔵 (記載の無いものは岡本太郎美術館蔵)
1	ドラマ	岡本太郎	1958	油彩、キャンバス	
2	海辺の肖像	岡本太郎	1973	油彩、キャンバス	
3	眼の樹	岡本太郎	1978	油彩、キャンバス	
4	顔・顔・顔	岡本太郎	1980	油彩、キャンバス	
5	森の家族	岡本太郎	1983	油彩、キャンバス	
6	予感	岡本太郎	1963	油彩、キャンバス	
7	プロフィール	岡本太郎	1975	油彩、キャンバス	
8	装える戦士	岡本太郎	1962	油彩、キャンバス	
9	千手	岡本太郎	1965	油彩、キャンバス	
10	まひるの生物	岡本太郎	1962	油彩、キャンバス	
11	行く人	岡本太郎	1962	油彩、キャンバス	
12	ひそやかな跳躍	岡本太郎	1963	油彩、キャンバス	
13	赤のアイコン	岡本太郎	1961	油彩、キャンバス	
14	黒い生きもの	岡本太郎	1961	油彩、キャンバス	
15	犬	岡本太郎	1954	油彩、キャンバス	
16	未来を見た	岡本太郎	1971	油彩、キャンバス	
17	散歩	岡本太郎	1980	油彩、キャンバス	
18	母と子	岡本太郎	1982	油彩、キャンバス	
19	鳥	岡本太郎	1963	コンクリート	
20	太陽の鐘	岡本太郎	1966	FRP	
21	サカナ	岡本太郎	1960	コンクリート	
22	瑞鳥	岡本太郎	1987	FRP	
23	動物	岡本太郎	1983	FRP	
24	若い夢	岡本太郎	1974	FRP	
25	乙女	岡本太郎	1988	FRP	
26	光る彫刻	岡本太郎	1967	FRP	
27	縄文人	岡本太郎	1982	FRP	
28	梵鐘・歓喜	岡本太郎	1965	ブロンズ	岡本太郎記念館

29	ノン	岡本太郎	1970	FRP	
30	手一青	岡本太郎	1981	FRP	
31	愛	岡本太郎	1961	FRP	
32	ミュンヘンオリンピック公式記念 メダル原型	岡本太郎	1972	FRP	
33	マスク (4 点)	岡本太郎	1970	FRP	
34	手の灰皿	岡本太郎	1979	ガラス	
35	挑む	岡本太郎	1980	紙本アクリル着色	
36	遊ぶ字原画 (31 点)	岡本太郎			岡本太郎記念館
37	優善良織	岡本太郎	制作年不詳	墨書、色紙	
38	犬 (4 点)	岡本太郎	1954	鉛筆、インク、紙	
39	不具者 (5 点)	岡本太郎	1955	鉛筆、インク、紙	
40	散歩 (3 点)	岡本太郎	1971	鉛筆、紙	
41	母と子 (6 点)	岡本太郎	1963	墨、水彩、紙	
42	手の灰皿 (4 点)	岡本太郎	1979	鉛筆、紙	
43	ミュンヘンオリンピック公式記念 メダル (9 点)	岡本太郎	1972	鉛筆、紙	
44	母の手紙	岡本太郎	1979	墨、紙	
45	夢	岡本太郎	1979	紙本墨書	
46	夢	岡本太郎	制作年不詳	墨書、色紙	
47	炎	岡本太郎	制作年不詳	墨書、色紙	
48	愛	岡本太郎	1981	リトグラフ	
49	炎	岡本太郎	1976	リトグラフ	
50	母	岡本太郎	1981	リトグラフ	
51	風	岡本太郎	1975	リトグラフ	
52	炎	岡本太郎	1988	リトグラフ、油彩	
53	夢	岡本太郎	1988	リトグラフ、油彩	
54	国鉄九州 生命。つたわる。	岡本太郎	1986	ポスター	
55	第 15 回高津区民祭	岡本太郎	1988	ポスター	
56	信州野沢温泉・湯	岡本太郎	1983	ポスター	
57	写 GIRL 展	岡本太郎	1981	ポスター	
58	下町 LIVE'90	岡本太郎	1990	ポスター	
59	国立劇場開場記念 管弦聲明	岡本太郎	1967	ポスター	
60	高知・まちと人の 100 年	岡本太郎	1989	ポスター	
61	エネルギーの有効活用展	岡本太郎	1988	ポスター	
62	第 12 回創作舞踊作品公演 鬼婆	岡本太郎	1977	ポスター	
63	仔馬	表紙:岡本太郎	1965	雑誌	
64	明石・鳴門架橋 明日の日本をつくる	表紙:岡本太郎	1971	パンフレット	
65	かの子撩乱	装丁:岡本太郎	1965	書籍 (講談社)	

【体験コーナー】(会期中毎日開催)

コーナー名	内容	協力者
さわって遊ぶ	太郎の作品に手でさわって遊ぶ	チーム☆TARO (NPO ARDA)
おと・リズムで遊ぶ	太郎の《梵鐘・歓喜》やアフリカの楽器を使っておとやリズムで遊ぶ	BB モフラン (打楽器奏者)、 たたら康恵 (音楽療法士)
ことばで遊ぶ	連詩づくりや気になる文字を探して詩をつくって遊ぶ	田中庸介 (詩人)、 横山裕一 (漫画家/美術家)
仮面で遊ぶ	仮面をかぶったり撮影をして遊ぶ	酒井貴史 (美術作家)
において遊ぶ	太郎の遊ぶ字とにおいてを想像して遊ぶ	井上尚子 (美術作家)
遊ぶ字に挑戦!	太郎の遊ぶ字に色をつけたり、自分の遊ぶ字を描く	

企画展

「岡本太郎とメディアアート」展 山口勝弘―受け継がれるもの

会 期	2017 年 11 月 3 日（金）～2018 年 1 月 28 日（日）
開催日数	69 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館、岡本太郎とメディアアート実行委員会
協 力	東京都現代美術館、東京都写真美術館、神奈川県近代美術館 川崎市市民ミュージアム、一般財団法人草月会、横田茂ギャラリー タケイシイギャラリー、サンコロナ小田株式会社
観 覧 料	一般 900（720）円、高・大学生・65 歳以上 700（560）円、 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入場者数	20250 名
1 日 平 均	294 名(小数点以下、四捨五入)
図 録	A5
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	70 点
担 当 者	大杉浩司、木下紗耶子、北川裕介



ポスター

チラシ



図録

【開催趣旨】

アヴァンギャルドの一匹狼として、戦後日本の美術界にノンを突きつけた岡本太郎ですが、同時に分野を超えた新しい芸術の展開を求める組織的な活動の中では、そこに集う若い芸術家達に惜しみのない支援を欠かしませんでした。

その精神を受け継ぎ、時代に先駆け独自の表現を確立していったアーティストに山口勝弘がいます。インターメディアの先駆けとなる「実験工房」の時代からインターラクティブな関係をめざした「ビデオ・アート」や「環境芸術」など、アートとテクノロジー、そして社会との関わりを掘り下げ、新たな表現に挑んだ山口もまた、次世代を継ぐ多くのアーティストを世に送り出すことにより現代のメディアアートという分野が確立されたのです。

本展は、岡本太郎から山口勝弘、そして彼らの活動の先に開花した最先端のメディアアートを担う現代アーティスト 8 人の作品を紹介するものです。

会場には、山口勝弘が岡本に捧げたオマージュ作品をはじめとし、山口と現代アーティストの作品が岡本太郎の展示空間でコラボレーションします。戦後日本の現代美術の原点から始まり、アートとテクノロジーの融合をめざした新しい芸術分野の成立に至るメディアアートの歴史的な連続性を概観します。



展示風景

【主要関連記事・TV・ラジオ放送】

Japan Times 「Taro Okamoto and Media Art」11月17日
読売新聞「岡本太郎とメディアアートの競演」12月1日
読売新聞(神奈川県版)「Com on!岡本太郎とメディアアート」1月10日
テレビ神奈川「ニュース 930」後進の支援で花開いたメディアアート 11月28日
NHK Eテレ「日曜美術館 アートシーン 岡本太郎とメディアアート」12月24日
神奈川テレビ「地モトTV おかえり KAWASAKI」1月10日
Web Yahoo ニュース「岡本太郎とメディアアート」12月9日

【関連事業】

■メディアオペラ

山口勝弘の芸術活動 70 年を祝い、岡本太郎と出会った 1948 年からの山口の活動を「時間の旅」に仕立てたメディアオペラの上演。

日 時 2017 年 11 月 4 日 (土) 14:00~14:40
場 所 常設展示室
出 演 書上奈朋子、JOU、アンサンブルプラネタ、クリストフシャルル
中嶋興、森脇裕之
料 金 観覧料のみ
参加人数 135 名



■展覧会記念トーク

展覧会を記念した記念トーク

日 時 2017 年 11 月 4 日 (土) 15:30~16:30
場 所 ガイダンスホール
出 演 山口勝弘、クリストフシャルル、書上奈朋子、森脇裕之、中嶋興
料 金 無料
参加人数 94 名



■巨大パイラ人登場

高橋士郎の空気膜ロボット・バボットが岡本太郎デザインのパイラ人となって美術館に登場する。

日 時 会期中の土、日、祝日
場 所 美術館前広場
出 演 パイラ人
料 金 無料



■なんだ!この楽器は!?ペロミン工作ワークショップ

明和電機の製品「ペロミン」の楽器をつくり、展示室で演奏会を行うワークショップ。

日 時 2017 年 11 月 18 日 (土) 13:00~15:00
場 所 創作アトリエ、常設展示室
講 師 明和電機
料 金 材料費として 2500 円
参加人数 18 名



■伊藤尚未フシギ工作「パラパラ影絵を作ろう」

子供の科学でおなじみの伊藤尚未さんと電子回路を組み立ててパラパラ影絵をつくるワークショップ。

日 時 2017 年 12 月 10 日 (日) 1 回目 10:30~12:00 2 回目 14:00~15:30

場 所 ガイダンスホール

講 師 伊藤尚未

料 金 材料費として 1500 円

参加人数 1 回目 13 名 2 回目 19 名



■伊藤尚未フシギ工作「イルミラマを作ろう」

子供の科学でおなじみの伊藤尚未さんと LED をランダムに光らせる電子回路をつかい幻想的なイルミネーションを作ります。

日 時 2017 年 12 月 17 日 (日) 1 回目 10:30~12:00 2 回目 14:00~15:30

場 所 ガイダンスホール

講 師 伊藤尚未

料 金 材料費として 1500 円

参加人数 1 回目 11 名 2 回目 19 名



■VR でつくろう!キミだけの TARO ミュージアム!

工学部の学生と簡単なプログラムにふれながら自分だけの岡本太郎空間を楽しむワークショップ。

日 時 2017 年 12 月 23 日 (土) 1 回目 11:00~13:00 2 回目 14:00~16:00

体験イベント 11:00~16:00

場 所 ガイダンスホール

講 師 日本工業大学工学部

料 金 無料

参加人数 1 回目 16 名 2 回目 14 名 体験イベント 101 名



日 時 2017 年 12 月 24 日 (日) 体験イベント 11:00~16:00

場 所 ガイダンスホール

講 師 日本工業大学工学部

料 金 無料

参加人数 体験イベント 101 名



■映画「宇宙人東京に現わる」上映会

岡本太郎がデザインした宇宙人の登場する SF 映画の上映会。

日 時 2018 年 1 月 14 日 (日) 14:00~15:30

場 所 ガイダンスホール

料 金 無料

参加人数 95 名

■松本俊夫映像上映会とギャラリートーク

2017 年に亡くなった映像作家松本俊夫の作品上映と川崎市市民ミュージアム学芸員・濱崎好治のギャラリートーク。
都合により中止

■作家によるギャラリートーク

展覧会出品作家によるギャラリートーク

森脇裕之ギャラリートーク	12月3日(日)	14:00~15:00	27名
	1月13日(土)	14:00~15:00	26名
田中敬一ギャラリートーク	1月7日(日)	14:00~15:00	54名
伊藤尚未ミニトーク	1月28日(日)	11:00~12:00	30名
寺井弘典ギャラリートーク	1月28日(日)	14:00~15:00	80名



【出品リスト】

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状	所蔵（記載の無いものは岡本太郎美術館蔵）
1	夜	岡本太郎	1947	油彩・キャンバス	
2	憂愁	岡本太郎	1947	〃	
3	森の掟	岡本太郎	1950	〃	
4	赤のアイコン	岡本太郎	1961	〃	
5	美女と野獣	岡本太郎	1949	〃	
6	黒い太陽	岡本太郎	1949	〃	
7	クリマ	岡本太郎	1951	〃	
8	若い時計台	岡本太郎	1966	コンクリート、金属、時計	
9	星・花・人	岡本太郎	1971	木、照明	
10	月の顔	岡本太郎	1981	FRP	
11	樹人	岡本太郎	1971	FRP	
12	光る彫刻	岡本太郎	1967	FRP、照明	
13	動物	岡本太郎	1959	コンクリート	
14	太陽の塔	岡本太郎	1970	FRP	
15	黒い太陽—岡本太郎に捧ぐ	山口勝弘	1996	FRP、モニター	
16	川崎	山口勝弘	1988	ガラス、タイル、モニター	川崎市市民ミュージアム
17	光のオブジェ Y	山口勝弘	1970	蛍光管、金属	神奈川県立近代美術館
18	フジツボ	山口勝弘	1966	アクリル、照明	横田茂ギャラリー
19	ヴィトリヌ No37	山口勝弘	1953	油彩、ガラス	神奈川県立近代美術館
20	ヴィトリヌ昇天	山口勝弘	1953	油彩、ガラス	横田茂ギャラリー
21	日はまた昇る	山口勝弘	2017	アクリル、キャンバス	個人蔵
22	C の関係	山口勝弘	不詳	リトグラフ	
23	港	山口勝弘	〃	〃	
24	光の立方体	山口勝弘	〃	〃	
25	推力	山口勝弘	〃	〃	
26	ペン	山口勝弘	〃	〃	
27	カレイド	山口勝弘	〃	〃	
28	APN No1	山口勝弘	1953	ゼラチン、シルバープリント、 バライタ紙	神奈川県立近代美術館
29	APN No2	山口勝弘	1953	ゼラチン、シルバープリント、 バライタ紙	神奈川県立近代美術館

30	APN No4	山口勝弘	1953	ゼラチン、シルバープリント、 バライタ紙	神奈川県立近代美術館
31	APN No6	山口勝弘	1953	ゼラチン、シルバープリント、 バライタ紙	神奈川県立近代美術館
32	APN No8	山口勝弘	1953	ゼラチン、シルバープリント、 バライタ紙	神奈川県立近代美術館
33	APN No10	山口勝弘	1953	ゼラチン、シルバープリント、 バライタ紙	神奈川県立近代美術館
34	気膜ロボット 海中生物	高橋士郎	2017	ナイロン、送風機	個人蔵
35	パイラ人—岡本太郎に捧ぐ	高橋士郎	2017	ナイロン、送風機	個人蔵
36	ダントンの首	高橋士郎	2013	フロッピーハードディスクのコ イル、銅線、モーター	個人蔵
37	収束軸立体機構 詩的平行四辺形	高橋士郎	1969	AIB(アルミ棒)、モーター	個人蔵
38	収束軸立体機構 揺れる三角錐	高橋士郎	1969	AIB(アルミ棒)、モーター	個人蔵
39	パソコンプリンターによる生成ラ イブパフォーマンス「岡本太郎語 録・芸術は爆発だ」	幸村真佐男		紙、パソコン、プリンター	個人蔵
40	房総布良海岸の午後の太陽軌跡・ 青木繁「海の幸」へのオマージュ	幸村真佐男		紙	個人蔵
41	沈まない太陽 ノルウェイ北極海・夏至・0時	幸村真佐男		紙	個人蔵
42	レイヨ・グラフィー	森脇裕之	1990	LED、光センサー	個人蔵
43	時間層II	岩井俊雄	1985	ミクストメディア、ビデオモー ター、鉄、木、紙	東京都写真美術館
44	TARO360°	原田大三郎	2017	パソコン、モニター、ヘッドマ ウントディスプレイ	個人蔵
45	鎮魂の舞	中嶋興	2014	50 インチモニター、DVD	個人蔵
46	Light Ambient Cloud レーザー光線による 空間インスタレーション	田中敬一	2017	半導体レーザー、音響、LED	

企画展

「第 21 回岡本太郎現代芸術賞」展

会 期	2018 年 2 月 16 日(金)～2018 年 4 月 15 日(日)
開催日数	49 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館 岡本太郎記念現代芸術振興財団
観 覧 料	一般 700 (560) 円、高・大学生・65 歳以上 500 (400) 円、 中学生以下 無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入場者数	12,730 名
1 日平均	260 名(小数点以下、四捨五入)
図 録	リーフレット A5 無料配布
ポスター	B2
チ ラ シ	長形ハガキサイズ
出品点数	26 点
担 当 者	佐々木秀憲、千村曜子



リーフレット



チラシ



展示風景

【開催趣旨】

時代に先駆けて、たえず新たな挑戦を続けてきた岡本太郎。岡本太郎現代芸術賞は、岡本の精神を継承し、自由な視点と発想で、現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立されました。

今年で21回目を迎える本賞では558点の応募があり、創造性あふれる26名（組）の作家が入選をはたしました。また最終審査を経て、太郎賞1名、敏子賞1名、特別賞3名が決定。

21世紀における芸術の新しい可能性を探る、意欲的な作品をご覧いただきました。

【受賞者】

岡本太郎賞	さいあくななちゃん 《芸術はロックンロールだ》
岡本敏子賞	弓指寛治 《Oの慰霊》
特 別 賞	市川ジュン《白い鐘》
特 別 賞	富安由真《In-between》
特 別 賞	ユウキユキ《ユキテラス大神殿 疾岩戸伝説》



《芸術はロックンロールだ》

【関連記事・TV・ラジオ放送】

「ロックな芸術に最高賞」『読売新聞』2018年3月11日

「社会鋭く映す26品」『神奈川新聞』2018年2月27日

「第21回岡本太郎賞にさいあくななちゃん」『毎日新聞』2018年2月28日

「「芸術はロック」に最高賞」『タウンニュース』2018年2月23日号

【関連事業】

■出品作家によるギャラリートーク

日程・作家

2月18日(日) 市川デュン、塩見真由、ワタリドリ計画

3月4日(日) 文田聖二、細沼凌史、富安由真、室井悠輔、笹田晋平

3月18日(日) 村上力、弓指寛治、矢成光生、木暮奈津子、藤本りか

3月26日(日) 大野修平、黒木重雄、橋本悠希、さいあくななちゃん、近藤祐史

4月9日(日) 与那覇俊、黒宮菜葉、横山信人、吉田芙希子、○△□(まるさんかくしかく)

場 所 企画展示室

時 間 各日とも 13:00～

参加人数 各回とも約 50 名～150 名

■お気に入りの作品を選ぼう！

展示されている 26 点の TARO 賞作品の中から、来館者にお気に入りの作品を選ぶイベント。受付でもらったカードに付いている赤いシールを、企画展出口にある投票ボードにシールを貼って投票しました。

日 時 2018 年 2 月 16 日(金)～4 月 25 日(日)

場 所 企画展示室、ギャラリースペース

投票結果 1 位 《In-between》 富安由真

2 位 《ユキテラス大神殿 茨戸伝説》 ユウキユキ

3 位 《シャケ涅槃会》 笹田 晋平

4 位 《芸術はロックンロールだ》 さいあくななちゃん

5 位 《木暮 奈津子》 くらげちゃん



■手紙プロジェクト「言葉でつながろう！」

来館者が、第 21 回 TARO 賞展の入選作家や作品に向けて、自分の思いや感想を手紙にして発信しました。書くことによって展示作品や展覧会を身近に感じることができ、ギャラリーへの掲示やファイリングを通して、来館者、作家が共有しました。作家からかえってきた返信もあわせて紹介しました。

日 時 2018 年 2 月 16 日(金)～4 月 15 日(日)

場 所 ギャラリースペース



【出品リスト】

No.	作家/作品名	素材・技法	作品サイズ (cm)
1	荒川 朋子 《毛と肉》	楠、桂、つけまつげ、カシュー塗料、陶土	13～15×50×500
2	市川 デュン 《白い鐘》	アルミニウム・アルミニウム缶・木・映像	可変
3	ichiko Funai 《Bande a la plage!》	ビデオテープ、海水グッツ(浮き輪等)、ブラウン管テレビ、モニター、プロジェクター、ビキニガールの映像	175×400×400
4	大野 修平 《planted-15》	植物、シアノアクリレート、ガラスクロス、エポキシ樹脂、ウレタン塗料、顔料、鉄	138×70×10
5	黒木 重雄 《Somewhere》	キャンバス、アクリル絵具	227.5×728.0×4.0

6	黒宮 菜菜 《「ただ青春・ただ光・ただ美・ただ悦楽」の池》	染料、画仙紙、裏打紙	420×540×3
7	木暮 奈津子 《くらげちゃん》	新聞紙、木工用ボンド、アクリルガッシュ	13-15×500×500
8	近藤 祐史 《Concretion Cave-凝結の洞穴ー》	セメント、石膏、木材、鉄、サイザイ	190×500×250
9	さいあくななちゃん 《芸術はロックンロールだ》	紙・キャンバス・ビニール・ギター etc	500×500×500
10	笹田 晋平 《シャケ涅槃会》	カンヴァスに油彩、その他	250×450×300
11	塩見 真由 《Mixed Juice》	アルミ箔、缶バッジ、FRP、段ボール、木材	450×450×400
12	富安 由真 《In-between》	木板に油彩、映像、木材、家具、日用品ほか	500×500×500
13	橋本 悠希 《拓》	和紙にインク、スマートフォン	270×400×5.5
14	藤本 りか 《butterfly effect》	毛糸、椅子	300×387×387
15	文田 聖二 《Breakthrough 価値の突破》	写真（インクジェット用紙）	300×500×300
16	細沼 凌史 《『キー・ボルドウォール』》	木材、キーボード、マウス、解答ボタン、体験者、その他	330×250×100
17	○△□(まるさんかくしかく) 《○△□の神話》	防災シートにアクリル、炎(火)、アーカイブ、他	500×500×500
18	村上 力 《PW-生きている俘虜》	麻布、樹脂、漆、鉄、木	175×400×400
19	室井 悠輔 《平凡な芸術家(仮)は本物の芸術家たり得るか(すべてを最初からはじめたい)》	、ミクストメディア	可変
20	矢成 光生 《One Day》	パネルにカシュー、油彩	227.3×486×3.3
21	ユウキユキ 《ユキテラス大御神 茨岩戸伝説》	ミクストメディア、パフォーマンス	可変
22	弓指 寛治 《Oの慰霊》	混合技法	500×500×500
23	横山 信人 《バスに乗り遅れるな》	ベニヤ板	360×500×500
24	吉田 美希子 《lovely lovely》	FRP、ポリエステルサーフェイサー	274×386×20
25	与那覇 俊 《ピッチューなんていわせないでよね》	全紙×6枚、8色PEN	149.5×297.5×3.0
26	ワタリドリ計画 (麻生知子・武内明子) 《祝・ワタリドリ計画結成10周年!》	紙、布、写真、油彩、陶、映像	500×500×500

2. 常設展

「岡本太郎—赤の衝動—」展

会 期	2017 年 4 月 13 日(木)～7 月 2 日(日)
開催日数	81 日
観 覧 料	一般 500 (400) 円、高大学生・65 歳以上 300 (240) 円 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
出品点数	108 点
担 当 者	飯島祥平、片岡香



ポスター

【開催趣旨】

岡本太郎は抽象絵画をこころざしたパリ留学中から 1980 年代にいたるまで、赤を象徴的にもちいた作品を数多く描いています。

私は幼い時から、「赤」が好きだった。赤といっても派手な明るい、暢気な赤ではなくて、血を思わせる激しい赤だ。(中略) 激しさを象徴する。自分の全身を赤にそめたいような衝動。この血の色こそ生命の情感であり、私の色だと感じつつけていた。

(『美の呪力』 1971 年 新潮社)

このように語る岡本太郎にとって「赤」とはどのような色だったのでしょうか。

本展では、岡本太郎の「赤」を象徴的にもちいた作品と共に、赤にまつわる幼少期のエピソードやパリ留学中に知り衝撃を受けた古代メキシコの血の儀式をご紹介します、岡本太郎が「赤」に込めた思いについて迫りました。

【出展作品リスト】

No.	作家名	作品名	材質・技法	制作年
1	岡本太郎	呼ぶA	繊維強化プラスチック	1990
2	岡本太郎	呼ぶB	繊維強化プラスチック	1990
3	岡本太郎	二人	油彩、キャンバス	1948
4	岡本太郎	赤い顔	油彩、キャンバス	1979
5	岡本太郎	重工業	油彩、キャンバス	1949
6	岡本太郎	サカナ (彫刻)	コンクリート	1960
7	岡本太郎	サカナ (油彩)	油彩、キャンバス	1973
8	岡本太郎	美女と野獣	油彩、キャンバス	1949
9	岡本太郎	傷ましき腕	油彩、キャンバス	1936/ 1949(再制作)
10	岡本太郎	女	油彩、キャンバス	1978

11	岡本太郎	呼ぶ (油彩)	油彩、キャンバス	1984
12	岡本一平	無題 (岡本一家)	紙本彩色・墨	1984
13	岡本かの子著 岡本一平画 岡本太郎さし絵	女体開顕	書籍/中央公論社	不詳
14	岡本太郎著 岡本一平装丁	母の手紙	書籍/婦女界社	1943
15	岡本一平	ある夫婦の六態	墨、彩色・紙	制作年不詳
16	岡本かの子著 岡本太郎装幀	生々流転	書籍	1940
17	岡本かの子	観音経	印刷物	制作年不詳
18	岡本一平画	親子目録「これがそも…」	紙本彩色	1925
19	岡本太郎	誇り	繊維強化プラスチック	1962
20	岡本太郎	死の祭り 市場の様子	クロモジェニック・カラープリント	1970
21	岡本太郎	クエルナワカ	クロモジェニック・カラープリント	1970
22	岡本太郎	ソチミルコ	ゼラチン・シルバー・プリント	1967
23	岡本太郎	トラコルーラの市場	ゼラチン・シルバー・プリント	1967
24	岡本太郎	メルカド・メディシノス	ゼラチン・シルバー・プリント	1967
25	岡本太郎	コアトリクエ部分 (メキシコ国立人類学博物館)	ゼラチン・シルバー・プリント	1967
26	岡本太郎	カバ	ゼラチン・シルバー・プリント	1967
27	岡本太郎	パレンケ	ゼラチン・シルバー・プリント	1967
28	岡本太郎	メキシコ	ゼラチン・シルバー・プリント	1963
29	岡本太郎	黒い顔	油彩、キャンバス	1963
30	岡本太郎	青空	油彩、キャンバス	1954
31	岡本太郎	天空に我あり	油彩、キャンバス	1975
32	岡本太郎	子供の時間	繊維強化プラスチック	1975
33	岡本太郎	黒い太陽	油彩、キャンバス	1949
34	岡本太郎	顔VI	油彩、キャンバス	1968
35	岡本太郎	風神	油彩、キャンバス	1961
36	岡本太郎	赤のアイコン	油彩、キャンバス	1961
37	岡本太郎	哄笑	油彩、キャンバス	1972
38	岡本太郎	眼の立像	油彩、キャンバス	1981
39	岡本太郎	翔ぶ赤	油彩、キャンバス	1979
40	岡本太郎	曙	陶	1981

41	岡本太郎	風神	陶	1978
42	岡本太郎	渾沌	陶	1979
43	岡本太郎	ひらく	陶	1979
44	岡本太郎	赤	油彩、紙	1952
45	岡本太郎	太陽の塔	繊維強化プラスチック	1970
46	岡本太郎	クリマ	油彩、キャンバス	1951
47	岡本太郎	樹霊Ⅱ	繊維強化プラスチック	1971
48	岡本太郎	創世記	油彩、キャンバス	1982
49	岡本太郎	海辺の肖像	油彩、キャンバス	1973
50	岡本太郎	動物	コンクリート	1959
51	岡本太郎	駄々っ子	繊維強化プラスチック	1969(原型)
52	岡本太郎	手の椅子	繊維強化プラスチック	1967(原型)
53	岡本太郎	坐ることを拒否する椅子	陶	1963(原型)
54	岡本太郎	眼と眼コミュニケーション原型	繊維強化プラスチック	1980
55	岡本太郎	天に舞う	繊維強化プラスチック	1974
56	岡本太郎	躍進	繊維強化プラスチック	1972
57	岡本太郎	マスク	繊維強化プラスチック	1970
58	岡本太郎	ひもの椅子	木、ロープ	1967(原型)
59	岡本太郎	花びらの椅子	繊維強化プラスチック	1970(原型)
60	岡本太郎	飛行船模型	繊維強化プラスチック	1973
61	岡本太郎	顔の椅子	木	1953
62	岡本太郎	ティーテーブル・遊び	合板、金属	1967
63	岡本太郎	むすめ	陶磁	1967
64	岡本太郎	黒い顔	繊維強化プラスチック	1968
65	岡本太郎	人間ボトル	陶磁	1985
66	岡本太郎	スモーキングセット	陶器	1952
67	岡本太郎	まつげ	ガラス	1978
68	岡本太郎	顔のグラス	ガラス	1976
69	岡本太郎	手の灰皿	ガラス	1979
70	岡本太郎	梵鐘・歓喜	ブロンズ	1965
71	岡本太郎	樹人	繊維強化プラスチック	1971
72	岡本太郎	若い時計台	アルミニウム	1966
73	岡本太郎	こどもの樹	繊維強化プラスチック	1985
74	岡本太郎	赤い手	繊維強化プラスチック	1981
75	岡本太郎	青い手	繊維強化プラスチック	1981
76	岡本太郎	太陽	繊維強化プラスチック	1985
77	岡本太郎	未来を拓く	繊維強化プラスチック	1987

78	岡本太郎	リボンの子	繊維強化プラスチック	1969
79	岡本太郎	花器 歩み	陶	1967
80	岡本太郎	飛翔	陶器	1977
81	岡本太郎	れんげの大鉢	陶器	1987
82	岡本太郎	むすめ	陶	1982
83	岡本太郎	つどい	陶器	1988
84	岡本太郎	歓喜	陶	1977
85	岡本太郎	サイコロ椅子(渦巻き模様)	籐	1957/2011
86	岡本太郎	水差し男爵	ガラス	1977
87	岡本太郎	緑の太陽	ガラス	1969
88	岡本太郎	顔のグラス	ガラス	1960 年代
89	岡本太郎	男の子・女の子	陶	制作年不詳
90	岡本太郎	神話	白銅	1980
91	岡本太郎	太郎の手の時計	繊維強化プラスチック	1972
92	岡本太郎	午後の日	ブロンズ	1967
93	岡本太郎	顔	バッグ	1978
94	岡本太郎	ティーセット夢の鳥	陶磁	1977
95	岡本太郎	未来を拓く	ブロンズ	1967
96	岡本太郎	花びら	ガラス	1968
97	岡本太郎	顔のプレート(青)	ガラス	1976
98	岡本太郎	顔のプレート(赤)	ガラス	1976
99	岡本太郎	笑い	陶	1952
100	岡本太郎	いのち	アルミニウム	1986
101	岡本太郎	手の椅子(ミニチュア)	陶	1986
102	岡本太郎	出発、JR 記念	金	1987
103	岡本太郎	ミュンヘンオリンピック記念メダル	ブロンズ	1972
104	岡本太郎	札幌オリンピック記念メダル	ブロンズ	1972
105	岡本太郎	フランス造幣局メダル	銀、金鍍金	1986
106	岡本太郎	爆発 (マグカップ)	陶	1981
107	岡本太郎	トランプ	紙	1977
108	岡本太郎	近鉄バッファローズキャップ	布	制作年不詳

常設展

「岡本太郎と巴里」展

会 期 2017 年 7 月 6 日(木) ～ 10 月 22 日(日)
 開催日数 95 日
 観 覧 料 一般 500 (400) 円、高大学生・65 歳以上 300 (240) 円
 中学生以下無料
 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります

出品点数 114 点
 担 当 者 佐々木秀憲



ポスター

【開催趣旨】

岡本太郎にとって、フランスのパリ市は、重要な都市の1つでした。1930年から1940年まで過ごしたパリで、世界中から集まった芸術家たちに揉まれながら、岡本は独自の個性を確立しました。そのため、秘書であり養女となった岡本敏子は、「岡本太郎は、戦前のパリで『岡本太郎』になった」と述べています。また、小説家であった母・岡本かの子の小説『巴里祭』の増刷版（1941年刊）のために、装丁画として、パリの風景画も描いています。その後も、岡本は、度々、パリを訪問し、芸術家としての活動を展開しました。本常設展では、岡本太郎のパリでの活躍を中心に展示構成し、東京とはちがった、パリでの「岡本太郎」をご紹介します。

【出展作品リスト】

No.	作家名	作品名	材質・技法等	制作年
1	岡本太郎	海の門	アルミニウム	1970
2	岡本太郎	愛	コンクリート	1961
3	ソニア・ドローネー＝テルク	リズムー色彩 No.816	シルクスクリーン・紙	1936/1973
4	ピエト・モンドリアン	コンポジション D	シルクスクリーン・紙	1932/1973
5	ジョルジュ・ヴァントング ルロー	$Y=-X^2+bx+c$ 赤・緑	シルクスクリーン・紙	1933/1973
6	ラースロー・モホイ＝ナジ	構成	シルクスクリーン・紙	1932/1973
7	クルト・セリグマン	パラシューター (版画集《紋章の放浪》より)	エッチング	1933-34
8	ジェラルド・ヴェリアミ	コンポジション	シルクスクリーン・紙	1935/1973
9	岡本太郎	空間	シルクスクリーン・紙	1933/1973
10	岡本太郎	空間	油彩・キャンバス	1934/1954
11	岡本太郎	二人	油彩・キャンバス	1948
12	岡本太郎	夜	油彩・キャンバス	1947
13	クルト・セリグマン	水たまり (3点)	エッチング	1935
14	下郷羊雄	失題	油彩・キャンバス	1942 頃
15	岡本一平	海の幸山の幸	墨、彩色・紙	制作年不詳
16	岡本一平	ある夫婦六態	墨、彩色・紙	制作年不詳
17	岡本かの子	生々流転	装幀・岡本太郎	1940
18	岡本かの子	巴里祭 (跡見学園女子大学図書館蔵)	装幀・岡本太郎	1941
19	岡本太郎	母の手紙	書籍	1941
20	岡本太郎	観音像	紙本彩色	制作年不詳

平成 29 年度 I 事業報告 2.常設展「岡本太郎と巴里」展

21	岡本太郎	誇り	繊維強化プラスチック	1961
22	岡本太郎	生成	シルクスクリーン・紙	1974
23	岡本太郎	視る	シルクスクリーン・紙	1974
24	岡本太郎	ポジション	シルクスクリーン・紙	1974
25	岡本太郎	具現	シルクスクリーン・紙	1974
26	岡本太郎	アドレッサン	シルクスクリーン・紙	1974
27	岡本太郎	呼ぶ	シルクスクリーン・紙	1974
28	岡本太郎	赤	シルクスクリーン・紙	1974
29	岡本太郎	エクセホモ	シルクスクリーン・紙	1974
30	岡本太郎	子供の時間	シルクスクリーン・紙	1974
31	岡本太郎	夜の会合	シルクスクリーン・紙	1974
32	岡本太郎	重工業	油彩・キャンバス	1949
33	岡本太郎	森の掟	油彩・キャンバス	1950
34	岡本太郎	クリマ	油彩・キャンバス	1951
35	岡本太郎	喫煙者	油彩・キャンバス	1951
36	岡本太郎	駄々っ子	油彩・キャンバス	1951
37	岡本太郎	作家	油彩・キャンバス	1948
38	岡本太郎	歓喜	油彩・キャンバス	1963
39	岡本太郎	若い闘争	油彩・キャンバス	1962
40	岡本太郎	ゆったり	布・木他	1956 (原型)
41	岡本太郎	青空	油彩・キャンバス	1954
42	岡本太郎	風神	油彩・キャンバス	1961
43	岡本太郎	アドレッサン	油彩・キャンバス	1962
44	岡本太郎	渾沌	ブロンズ	1962
45	岡本太郎	ふたり	油彩・紙	1962
46	岡本太郎	記念撮影	リトグラフ	1975
47	岡本太郎	流れる夢	リトグラフ	1975
48	岡本太郎	犬	リトグラフ	1975
49	岡本太郎	未来を見た	リトグラフ	1975
50	岡本太郎	太陽の塔	繊維強化プラスチック	1970
51	岡本太郎	悲しい動物	油彩・キャンバス	1966
52	岡本太郎	記念撮影	油彩・キャンバス	1975
53	岡本太郎	マラソン	油彩・キャンバス	1964
54	岡本太郎	哄笑	油彩・キャンバス	1972
55	岡本太郎	ひもの椅子	木、ロープ	1967(原型)
56	岡本太郎	動物	コンクリート	1959
57	岡本太郎	坐ることを拒否する椅子	陶	1963(原型)
58	岡本太郎	駄々っ子	繊維強化プラスチック	1969(原型)
59	岡本太郎	手の椅子	繊維強化プラスチック	1967(原型)
60	岡本太郎	天に舞う	繊維強化プラスチック	1972
61	岡本太郎	マスク	繊維強化プラスチック	1970
62	岡本太郎	パレ・デ・コングレ壁画・風	合板	1975
63	岡本太郎	パレ・デ・コングレ壁画・めざめ	合板	1975
64	岡本太郎	パレ・デ・コングレ壁画・太陽と月	合板・FRP	1975
65	岡本太郎	パレ・デ・コングレ壁画・いこい	合板・FRP	1975
66	岡本太郎	パレ・デ・コングレ壁画・赤	合板	1975
67	岡本太郎	花びらの椅子	繊維強化プラスチック	1970

平成 29 年度 I 事業報告 2.常設展「岡本太郎と巴里」展

68	岡本太郎	飛行船模型	繊維強化プラスチック	1973
69	岡本太郎	ティーテーブル・遊び	合板、金属	1967
70	岡本太郎	むすめ	陶	1967
71	岡本太郎	スモーキング・セット	陶	1952
72	岡本太郎	ひもの椅子	木、ロープ	1967(原型)
73	岡本太郎	顔の椅子	木	1953
74	岡本太郎	まつげ	ガラス	1978
75	岡本太郎	顔のグラス	ガラス	1976
76	岡本太郎	梵鐘・歓喜	ブロンズ	1967
77	岡本太郎	午後の日	陶	1967
78	岡本太郎	こどもの樹	FRP	1985
79	岡本太郎	未来を拓く	FRP	1987
80	岡本太郎	リョウラン	FRP	1989
81	岡本太郎	若い時計台	アルミニウム	1966
82	岡本太郎	赤い手	繊維強化プラスチック	1981
83	岡本太郎	青い手	繊維強化プラスチック	1981
84	岡本太郎	黒い顔	繊維強化プラスチック	1968
85	岡本太郎	樹人	繊維強化プラスチック	1971
86	岡本太郎	日輪	陶器	1987
87	岡本太郎	飛翔	陶器	1977
88	岡本太郎	雷神	陶器	1977
89	岡本太郎	歓喜	陶器	1977
90	岡本太郎	れんげの大鉢	陶器	1987
91	岡本太郎	横たわる	陶器	1981
92	岡本太郎	水差し男爵	ガラス	1977
93	岡本太郎	緑の太陽	ガラス	1969
94	岡本太郎	男の子・女の子	陶	不詳
95	岡本太郎	太郎の手の時計	繊維強化プラスチック	1972
96	岡本太郎	午後の日	ブロンズ	1967
97	岡本太郎	神話	白銅	1980
98	岡本太郎	顔	革	1978
99	岡本太郎	ティーセット・夢の鳥	色絵磁器	1977
100	岡本太郎	未来を拓く	ブロンズ	1967
101	岡本太郎	人間ボトル	陶磁	1985
102	岡本太郎	花びら	ガラス	1968
103	岡本太郎	顔のプレート(青)(赤)	ガラス	1976
104	岡本太郎	笑い	陶	1952
105	岡本太郎	近鉄バツファローズ帽子	布	1959 デザイン
106	岡本太郎	ミュンヘンオリンピック記念メダル	ブロンズ	1972
107	岡本太郎	出発 JR 記念メダル	金	1987
108	岡本太郎	花ひらく (マグカップ)	陶	1977
109	岡本太郎	いのち	アルミニウム	1986
110	岡本太郎	手の椅子 (ミニチュア)	陶磁	1986
111	岡本太郎	国際眼科学会記念メダル	銅	1978
112	岡本太郎	フランス造幣局メダル	銀、金鍍金	1986
113	岡本太郎	ガラス絵・無題	ペンキ・ガラス	1964
114	岡本太郎	サイコロ椅子	籐	1957/2011

常設展

「敏子さん、岡本太郎のことおしえて。」展

会 期	2018 年 2 月 3 日(土)~2018 年 4 月 15 日(日)
開催日数	62 日
観 覧 料	一般 500 (400) 円、高大学生・65 歳以上 300 (240) 円 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
出品点数	89 点
担 当 者	木下紗耶子



岡本太郎（右）と敏子（左） 1964 年韓国

【開催趣旨】

岡本太郎の秘書 岡本敏子（旧姓平野、1926-2005）は、東京女子大学在学中の 1947 年頃に太郎に出会い、その後、約 50 年間にわたり太郎の活動を支えました。敏子の仕事は、太郎の口述筆記や原稿のための資料収集、取材旅行への随行、活動の記録など、太郎の活動のマネジメント全般にわたるものでした。

太郎の没後、敏子は岡本太郎記念現代芸術振興財団と岡本太郎記念現代芸術大賞（第 10 回より岡本太郎現代芸術賞）を設立したほか、著書『岡本太郎に乾杯』（1997 年）で、太郎の活動をあらためて世に問うなど、再評価の旗振り役として活躍しました。また、敏子の尽力により 2003 年にメキシコで発見された壁画「明日の神話」は、今日、太郎の代表作として知られています。

【出展作品リスト】

No.	作家名	作品名	材質・技法等	制作年
1	岡本太郎	重工業	油彩、キャンバス	1949
2	岡本太郎	まひるの顔	油彩、キャンバス	1948
3	岡本太郎	傷ましき腕	油彩、キャンバス	1936/ 1949(再制作)
4	岡本太郎	黒い太陽	油彩、キャンバス	1949
5	岡本太郎	喫煙者	油彩、キャンバス	1951
6	岡本太郎	海辺	油彩、キャンバス	1954
7	岡本太郎	二人	油彩、キャンバス	1948
8	岡本太郎	変身	油彩、キャンバス	1953
9	岡本太郎	明日の神話	油彩、キャンバス	1968
10	岡本太郎	予感	油彩、キャンバス	1963
11	岡本太郎	愛撫	油彩、キャンバス	1964
12	岡本太郎	ジャグル（メキシコ）	ゼラチンシルバープリント	1967
13	岡本太郎	オハカの市場（メキシコ）	ゼラチンシルバープリント	1967
14	岡本太郎	オハカの市場（メキシコ）	ゼラチンシルバープリント	1967

15	岡本太郎	死者の日のバン (メキシコ)	クロモジェニック・カラープリント	1970
16	岡本太郎	民芸品 (メキシコ)	クロモジェニック・カラープリント	1970
17	岡本太郎	メキシコ	クロモジェニック・カラープリント	1970
18	岡本太郎	祭壇 (メキシコ)	クロモジェニック・カラープリント	1970
19	岡本太郎	マスク	繊維強化プラスチック	1970
20	岡本太郎	眼と眼 コミュニケーション (原型)	繊維強化プラスチック	1980
21	岡本太郎	躍進	繊維強化プラスチック	1972
22	岡本太郎	天に舞う	繊維強化プラスチック	1974
23	岡本太郎	ノン	繊維強化プラスチック	1970
24	岡本太郎	こどもの樹	繊維強化プラスチック	1985
25	岡本太郎	樹人	繊維強化プラスチック	1971
26	岡本太郎	呼ぶA	繊維強化プラスチック	1990
27	岡本太郎	呼ぶB	繊維強化プラスチック	1990
28	岡本太郎	月の顔	繊維強化プラスチック	1981
29	岡本太郎	女神像	繊維強化プラスチック	1979
30	岡本太郎	赤い手	繊維強化プラスチック	1981
31	岡本太郎	青い手	繊維強化プラスチック	1981
32	岡本太郎	太陽の塔	繊維強化プラスチック	1970
33	岡本太郎	動物	コンクリート	1959
34	岡本太郎	梵鐘・歓喜	ブロンズ	1965
35	岡本太郎	光る彫刻	繊維強化プラスチック	1967
36	岡本太郎	邂逅	繊維強化プラスチック	1971
37	岡本太郎	坐ることを拒否する椅子	陶磁	1963
38	岡本太郎	手の椅子	繊維強化プラスチック	1967
39	岡本太郎	駄々っ子	繊維強化プラスチック	1969
40	岡本太郎	ひもの椅子	木、ロープ	1967
41	岡本太郎	スツール	アルミ、布	1967
42	岡本太郎	ティーテーブル・遊び	合板、金属	1967
43	岡本太郎	むすめ	陶磁	1967
44	岡本太郎	黒い顔	繊維強化プラスチック	1968
45	岡本太郎	人間ボトル	陶磁	1985
46	岡本太郎	スモーキングセット	陶器	1952
47	岡本太郎	顔のグラス	ガラス	1960年代
48	岡本太郎	TARO 鯉 (鯉のぼり)	布	1980
49	岡本太郎	水差し男爵	ガラス	1977
50	岡本太郎	横たわる	陶	1981
51	岡本太郎	飛翔	陶器	1977

52	岡本太郎	雷神	陶器	1978
53	岡本太郎	歓喜	陶器	1977
54	岡本太郎	れんげの大鉢	陶器	1987
55	岡本太郎	日輪	陶器	1987
56	岡本太郎	人間ボトル	陶磁	1985
57	岡本太郎	緑の太陽	ガラス	1969
58	岡本太郎	顔のグラス	ガラス	1960年代
59	岡本太郎	男の子・女の子	陶	制作年不詳
60	岡本太郎	神話	白銅	1980
61	岡本太郎	太郎の手の時計	繊維強化プラスチック	1972
62	岡本太郎	午後の日	ブロンズ	1967
63	岡本太郎	顔	バッグ	1978
64	岡本太郎	ティーセット夢の鳥	陶磁	1977
65	岡本太郎	未来を拓く	ブロンズ	1967
66	岡本太郎	花びら	ガラス	1968
67	岡本太郎	顔のプレート(青)	ガラス	1976
68	岡本太郎	顔のプレート(赤)	ガラス	1976
69	岡本太郎	笑い	陶	1952
70	岡本太郎	いのち	アルミニウム	1986
71	岡本太郎	手の椅子(ミニチュア)	陶	1986
72	岡本太郎	出発 JR 記念	金	1987
73	岡本太郎	ミュンヘンオリンピック 記念メダル	ブロンズ	1972
74	岡本太郎	札幌オリンピック記念メダル	ブロンズ	1972
75	岡本太郎	フランス造幣局メダル	銀、金鍍金	1986
76	岡本太郎	爆発 (マグカップ)	陶	1981
77	岡本太郎	トランプ	紙	1977
78	岡本太郎	近鉄パuffersアローズキャップ	布	制作年不詳
79	—	岡本太郎旧蔵スクラップブック	スクラップ帳、新聞、雑誌記事	1969
80	—	岡本太郎旧蔵スクラップ	紙箱、新聞、雑誌記事	制作年不詳
81	—	岡本太郎活動日誌	ノート、インク	1950・60年代
82	岡本敏子	『太郎に乾杯』原稿	紙に鉛筆	1996
83	岡本敏子	『太郎に乾杯』(新潮社)	書籍	1997
84	岡本一平	海の幸山の幸	紙本彩色	制作年不詳
85	岡本一平書、宮尾しげを編	新水也空 俳優の部 (素描社)	印刷物	1930
86	岡本かの子	白梅	絹本墨書	制作年不詳

	岡本かの子 著				
87	岡本一平 表紙装丁画 岡本太郎 表紙装丁案・挿絵	女体開頭 (中央公論社)	書籍	1943	
88	岡本かの子 著 岡本太郎 表紙装丁画	生々流転	書籍	1940	
89	岡本太郎	母の手紙	書籍	1941	

3. パフォーマンス・学会発表等

■ 「26 人のパン人間の処刑」 川崎市岡本太郎美術館 2017

川崎市出身で国際的に活躍する現代アーティスト・折元立身によるパフォーマンス「26 人のパン人間の処刑」を企画展示室で行いました。公募で集められた 25 名のパフォーマーと折元の計 26 名が、パンを入れた箱を持って目かくしをされ、企画展示室に設置された処刑台にくくりつけられ処刑されるパフォーマンスです。

人とのコミュニケーションを媒介に様々なパフォーマンスを行ってきた折元立身。今回、社会に鋭いメッセージを突きつけた岡本太郎の精神を継承する当館での開催にあたり、「暴力」をテーマとする処刑のパフォーマンスに挑みました。

日 時 2017 年 10 月 22 日 (日) 14:00~16:30
出 演 折元立身、公募パフォーマー 25 名
会 場 企画展示室
主 催 川崎市岡本太郎美術館
料 金 無料 (要観覧料)
参加者数 パフォーマンス出演者：25 名、観覧者：39 名



学会発表等

1. 学会発表

①発表者：佐々木秀憲

テーマ：「パリ滞在時代（1930-40）の岡本太郎—《傷ましき腕》を中心に」

学会名：美学会（第 68 回美学会全国大会）

日 時：2017 年 10 月 7 日(土)

会 場：國學院大學渋谷キャンパス

②発表者：佐々木秀憲

テーマ：「1951 年第 3 回アンデパンダン展へのアメリカ人作家の出品—岡本太郎とクルト・セリグマン」

学会名：美学会（平成 29 年度第 4 回美学会東部会例会）

日 時：2017 年 12 月 2 日

会 場：東京藝術大学

③発表者：佐々木秀憲

テーマ：「《太陽の塔》の研究—ミルチャ・エリアーデの影響」

学会名：美術史学会（平成 29 年度美術史学会東支部 3 月例会）

日 時：2018 年 3 月 24 日(土)

会 場：東京大学

2. 学術団体役職

佐々木秀憲

役職名：ジャポニスム学会 理事 事務局長

任 期：2017 年 2 月から 2019 年 2 月まで

3. 外部講演等：

①講演者：佐々木秀憲

テーマ：「伝統とは創造すること」(TARO フェス 記念講演会)

日 時：2017 年 12 月 16 日(土)

会 場：佐賀県有田町 焔の博記念堂



4. 共催・協力企画展

「岡本太郎展」

会 場	菅野美術館
会 期	2017 年 12 月 9 日（土）～2018 年 4 月 1 日（日）
主 催	公益財団法人菅野美術館
協 力	川崎市岡本太郎美術館
後 援	塩竈市、塩釜市教育委員会、河北新報社
貸出点数	35 点



チラシ

5. 収集・保存・貸出

収集作品及び資料（購入）

作者名	作品名	購入元	摘要
芥川紗織	《顔》	株式会社 名古屋画廊	

寄贈作品・資料

作者名	作品名	寄贈元	オブジェクトタイプ/小分類
岡本 一平	《参禅□字の腹に去来する裏の木からし》	岡本太郎記念館	軸/ドローイング
〃	《獵師》	〃	軸/ドローイング
〃	《不明》	〃	軸/ドローイング
岡本 太郎	《天に舞う(原画)》	〃	原画/油彩
〃	《歡喜》	〃	ふろしき/テキスタイル・デザイン
〃	《誇り》	〃	てぬぐい/テキスタイル・デザイン
〃	《歩み》	〃	花器/陶器
〃	《不明》	〃	陶器
〃	《不明》5点	〃	ペーパーウェイト/インダストリアル・デザイン
〃	《不明》	〃	灰皿/インダストリアル・デザイン
〃	《不明》3点	〃	飾り皿/インダストリアル・デザイン
〃	《不明》2点	〃	ライター/インダストリアル・デザイン
〃	《不明》	〃	ライター/インダストリアル・デザイン
〃	《不明》	〃	印鑑ケース/インダストリアル・デザイン

作者名	作品名	寄贈元	摘要
	《不明》	岡本太郎記念館	メダル/インダストリアル・デザイン
	《不明》	〃	ネクタイピン/インダストリアル・デザイン
	《不明》	〃	バッヂ/インダストリアル・デザイン
岡本 太郎	《日の壁》	〃	レリーフ
〃	《ハルネス・シュナイダー記念碑レリーフ》	〃	レリーフ
〃	《東京オリンピック記念メダルレリーフ》	〃	レリーフ
〃	《月の壁》	〃	レリーフ
〃	《月の壁》	〃	レリーフ
〃	《星・花・人》	〃	レリーフ
〃	《曇野》	〃	マケット/レリーフ
〃	《いこい》	〃	レリーフ
〃	《躍進》	〃	彫刻
〃	《愛》	〃	彫刻
〃	《母の塔》	〃	彫刻
〃	《むすめ》	〃	彫刻
〃	《河神》	〃	彫刻
〃	《不明》	〃	彫刻
〃	《邂逅》	〃	彫刻
〃	《不明》	〃	彫刻
〃	《不明》	〃	彫刻
〃	《母の塔》	〃	彫刻
〃	《躍動の門》	〃	彫刻

作者名	作品名	寄贈元	摘要
岡本 太郎	《喜びの鐘》	岡本太郎記念館	彫刻
〃	《リョウラン》	〃	彫刻
〃	《乙女》	〃	彫刻
〃	《不明》	〃	彫刻
〃	《ひらく》	〃	彫刻
〃	《不明》	〃	彫刻
〃	《不明》	〃	彫刻
〃	《不明》	〃	彫刻
〃	《不明》	〃	彫刻

作品修復

作品名	作者名	制作年	分類	作品番号	修復内容	修復者
天に舞う	岡本太郎	1974	油彩		画面洗浄、煤汚れ除去、裏面角材復元、裏面一層浮上部接着、絵具剥落部充填、同充填部補彩、擦傷部修復、保護膜塗布、仮枠取付	有限会社 吉村美術 研究所
若い時計台	岡本太郎	1966	彫刻	2S00019	LED 照明器具への交換及び取付、調光器取付	日本美術 工芸株式 会社
光る彫刻		1967	彫刻	2S00023	LED 照明器具への交換及び取付、アクリルカバー取付、調光器取付	
母の塔		不詳	彫刻		本体補修、人体部補修、トップコート	
オリエンタル中村百貨店《光る大壁画》模型		1971	壁面装飾		本体部補修、電気部補修及び機器交換	
黒い太陽—岡本太郎に捧ぐ	山口勝弘		ビデオ彫刻		三角錐型鏡面彫刻の鏡面部交換、波型彫刻の破損部修復、新規液晶モニターへの交換、映像のデジタル変換	株式会社 モリワキ ット・ジ ャパン

貸出作品及び資料

本年度貸出作品：5 件 58 点

貸出先	岡本太郎記念館				合計：20 点
岡本太郎	分類	制作年	展覧会名／会期・会場		貸出期間
岡本太郎撮影写真「東北」	写真		「岡本太郎の東北」展 2017.7.1-10.9 岡本太郎記念館		2017.6.30- 11.9

貸出先	富山県美術館				合計：1 点
岡本太郎	分類	制作年	展覧会名／会期・会場		貸出期間
傷ましき腕	油彩	1936/49 (再制作)	「生命と美の物語 LIFE—楽園 をもとめて」展 2017.8.26-11.5 富山県美術館		2017.8.10- 11.21

貸出先	菅野美術館				合計：35 点
岡本太郎	分類	制作年	展覧会名／会期・会場		貸出期間
午後の日	彫刻	1967	「岡本太郎」展 2017.12.9-2018.4.1 菅野美術館		2017.12.6- 2018.4.6
午後の日	彫刻	1967			
動物	彫刻	1959			
太陽の塔	彫刻	1970			
リョウラン	彫刻	1989			
飛行船模型	彫刻	1973			
縄文人	彫刻	1982			
河童像 (小)	彫刻	1981			
リボンの子	彫刻	1969			
空間	油彩	1934/195 4			
顔VI	油彩	1970			
疾走する眼	油彩	1992			
双子座	油彩	1974			
メタモルフォーズ	版画	1960			
風	版画	1975			
炎	版画	1988			
夢	版画	1980			
愛	版画	1981			
母	版画	1981			
マスク	レリーフ	1970			
マスク	レリーフ	1970			
マスク	レリーフ	1970			
マスク	レリーフ	1970			

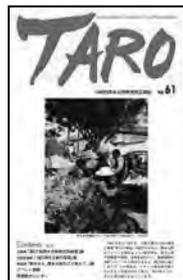
マスク	レリーフ	1970	
手の椅子		1967	
坐ることを拒否する椅子		1963	
顔のグラス		1976	
まつげ		1978	
スカーフ	テキスタイル		
スカーフ	テキスタイル		
スカーフ	テキスタイル		

貸出先	兵庫陶芸美術館			合計：2点
岡本太郎	分類	制作年	展覧会名／会期・会場	貸出期間
岡本太郎撮影写真「弥生式土器」	写真		「弥生の美—土器に宿る造形と意匠」展 2018.3.10-5.27 兵庫陶芸美術館	2018.3.2-6.8

6. 情報・刊行物

刊行物

刊行物名	サイズ	内容	発行部数
川崎市岡本太郎美術館ニュース 「TARO」 MUSEUM NEWS Vol.58～61	21×13.5 (cm) 三つ折	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展案内 ・常設展案内 ・イベント報告 ・美術館カレンダー ・美術館利用案内 	20,000 部 (各 5,000 部発行)
平成 29 年度 川崎市岡本太郎美術館 教育普及 記録集	A5 版	<ul style="list-style-type: none"> ・教育普及事業の記録 	300 部
平成 28 年度 川崎市岡本太郎美術館年報 当館ホームページにて、PDF 版の閲覧が可能 http://www.taromuseum.jp/aboutmuseum/report.html	A4 版	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告（企画展、常設展、共催・協力企画展、収集・保存・貸出、情報・刊行物、教育・普及事業、美術館協議会、資料収集・評価委員会） ・資料（入館者数統計、美術館事業予算・決算概要） ・組織名簿 ・美術館概要 ・美術館条例・規則 	300 部



美術館ニュース「TARO」 Vol.58～61



平成 28 年度
美術館年報



平成 29 年度
教育普及事業
記録集

7. 教育・普及事業

■ イベント・ワークショップ ■

<TARO 鯉にいどむ！ 2017>

ワークショップ日程 2017 年①4 月 22 日（土）、②23 日（日）、③29 日（土） 13:00～16:00

作品展示日程 2017 年 4 月 29 日（土）～5 月 7 日（土）

内 容 常設展示室の鑑賞、制作、仕上がった後母の塔前広場に展示、記念撮影、という流れで行いました。岡本太郎の言葉通り、「大人も、年寄りも、みんな自分自身が空中に飛翔しているような思いで」「自分勝手に」つくっていました。展示するための作業以外は出来るだけ自由に自分のおもいのままにつくってほしいという意図があり、それがよかったというアンケートの感想もありました。今年度は第 20 回 TARO 賞作家 11 名とメキシコ作家 6 名にもご協力いただき作家の作成した 17 匹の鯉も一緒に展示しました。母の塔前広場にロープを 4 本つなぎ、計 90 匹の鯉のぼりが泳ぎました。



場 所 創作アトリエ、常設展示室、母の塔前広場

料 金 無料（要観覧料）

参加人数 ①34 名 ②26 名 ③37 名

協力作家 あべゆか、井上裕起、繪幡彩子、岡野里香、楷の会 林楷人、工藤千尋、黒木重雄、鈴木伸吾、関川耕嗣
照屋美優、富田美穂、福本歩、三宅感、MYU mikki、六無、（名前順）

<まちをつくらうーぼくらのいこい島ー>

ワークショップ日程 2017 年①5 月 5 日（金祝）、②6 日（土） 13:00～16:00

作品展示日程 2017 年 5 月 5 日（金・祝）～5 月 9 日（火）

内 容 紙袋やストロー、ダンボールなど日常的に使われている素材を使い、企画展のテーマである建築に結び付けて、「まち」をつくってもらうワークショップを行いました。開始する前に、太陽の塔やビルや家などのものをある程度配置しておき、そこから発想をつないでつくってもらえるようにしました。1 年間の中でも、来館数の多いゴールデンウィークに華やかなイベントを打つことによって、さらなる来館を促すとともに、イベントをやっている美術館とイメージづけ、イベント内容を展覧会のテーマでもある建築と結びつけることで、展覧会への興味を促進させました。多くの方にご参加いただき、館を賑やかすイベントとなりました。



講 師 普及

場 所 ギャラリースペース

料 金 無料

参加人数 期間中随時参加のため参加多数

<まっ・赤ちゃんツアー>

- 日 時 2017年6月7日(水) 10:30~11:30
- 内 容 小さな子を連れて美術館に行くのはなかなか難しいと思われがちという来館者の声から、親子で一緒に鑑賞を楽しみ、お子さんの反応を確かめながらお子さんの様子を通して作品をみてもらったり作品を介しての親子のコミュニケーションを図ったり小さな子に無理なく美術館の雰囲気を味わってもらった鑑賞会を行いました。
- 場 所 ガイダンスホール~常設展示室
- 対 象 1~3才の幼児とご家族
- 講 師 学芸 普及企画
- 料 金 要観覧料
- 参加人数 7組 事前電話申し込み+当日受付



<中学生「夏休みの宿題手伝います」ツアー>

- 日 時 2017年①7月26日(水) ②27日(木) ③8月22日(火)
④23日(水) 各日 10:00~11:00
- 内 容 中学校では夏休みの課題として美術館に行って感想をかいた新聞をつくらたりする学校が多いため、美術館スタッフによるガイダンスを行ったりワークシートを提供したりした。より理解できたり気づいたり興味・関心が高まったりしました。
- 場 所 常設展示室、企画展示室
- 講 師 学芸 普及企画
- 料 金 無料
- 参加人数 ①21名 ②12名 ③15名 ④11名 当日申込



<美術館探検ツアー>

- 日 時 2017年8月2日(水) 13:00~15:00
- 内 容 小学高学年の子どもたちや中学生向けに、夏休みという時期を利用して素通りしてしまったり見落とししたりしがちな作品や展示空間を「探検まっぷ」をもとに主体的にめぐるツアーを企画しました。「探検まっぷ」には、さまざま問題などを記載し、展示室を回りながら問題に答え、岡本太郎について、また美術館の裏側について学べるよう工夫をこらしました。
- 場 所 ガイダンスホール、常設展示室、企画展示室、バックヤード
- 対 象 小学4年生~中学生(保護者の同伴無)
- 講 師 普及企画
- 料 金 無料
- 参加人数 10名 当日申込



<TARO 缶バッジをつくろう>

- 日 時 2017 年 8 月 20 日 (日) ①11:00~ ②14:00~
- 内 容 企画展「岡本太郎と遊ぶ」展イベントとして、100 名限定でオリジナル TARO 缶バッジをつくりました。《子どもの樹》《坐ることを拒否する椅子》の塗り絵を用意し自由に色を塗りオリジナルの缶バッジをつくれるとあって、家族連れを中心に賑やかなイベントとなりました。
- 場 所 企画展示室
- 対 象 どなたでも
- 料 金 無料
- 参加人数 ①50 名 ②50 名 (先着順/整理券配布)



<プレミアム TARO ナイト>

- 日 時 2017 年 8 月 25 日 (金) 17:00~20:00
- 内 容 8 月のプレミアムフライデーに美術館の夜間開館を行うとともに、母の塔のライトアップ、母の塔前広場において BAR TARO を臨時開店し夏の夜をアートと美味しいお酒で楽しんでいただきました。展示室では、常設展示室にある“遊ぶ字”イベントを開催しました。
- 場 所 母の塔広場、常設展示室、企画展示室
- 対 象 どなたでも
- 演 奏 DT ジャズユニット
- 料 金 無料 入館者は要観覧料 (2 割引)
- 入館者数 74 名 (17:00 以降入館者)
- 展示室イベント参加者 72 名



<なりきり仮面をつくろう>

- 日 時 2017 年 9 月 3 日 (金) 10:00~15:00
- 内 容 “岡本太郎と遊ぶ展”の出品作家と、岡本太郎も制作したマスクを作るワークショップを行いました。太郎の民族学の視点に触れたのち、廃材を使い呪術的なマスクを制作。また成果物を常設展示室内に展示し、参加者のさまざまな観点からできあがったマスクを来場者の方にみていただきました。
- 場 所 母の塔広場
- 対 象 18 歳以上
- 講 師 酒井貴史 (美術作家)
- 料 金 1500 円
- 参加人数 8 名



<ナイトミュージアム>

- 日 時 2017 年 8 月 25 日 (金) 17:00~20:00
- 内 容 学芸員のギャラリートツアーと普段見ることの出来ないバックヤードの一部を公開する大人限定のイベント。常設展をガイドツアー形式で観覧後、バックヤードを見学しました。その後、各々で展覧会をご覧いただき、カフェやショップでも自由にゆっくりとした時間を過ごしていただきました。



場 所 常設展示室、企画展示室
対 象 どなたでも
講 師 学芸
料 金 1500 円（入館料、ワンドリンク付き）
参加人数 21 名

＜まだまだ情熱は爆発だ！ツアー＞

日 程 2017 年 9 月 20 日(日) 10:30～11:30
内 容 70 歳以上の方がどなたか(お孫さん、夫婦、友人など)を誘ってきていただき一緒に作品鑑賞をしたり簡単な作品制作をしたりしながら気楽に楽しむツアーを、高齢者にも足を向けてもらうきっかけになるよう企画しました。当日は太郎さん、敏子さんの年譜、そこに自分の今までの歩みとこれからについて記入できる欄を設けたワークシートを用意。参加人数が少なかったが、今後も広報やワークシートを改良しながら、太郎さんのメッセージを年配層につたえる企画を続けていきたいと考えます。



場 所 常設展示室、企画展示室、ガイダンスホール
料 金 無料（要観覧料）
参加数 2 組

＜第 7 回キッズ TARO 展—テーマ「あそぶ」—＞

日 時 2017 年 9 月 23 日（土・祝）～10 月 22 日（日）17：15～20：00
内 容 自由な発想で、独創的な作品を作り続けた岡本太郎。その精神を受け継ぎ、子どもの無邪気で自由な表現の場として、第 7 回目となるキッズ TARO 展を開催しました。今年のテーマ「遊ぶ」のもと、幅広い作品が集まりました。来館者の感想コーナーも設け、見た人の反応も一緒に見えるようにしました。



場 所 ギャラリースペース
対 象 12 歳以下
応募者数 31 名

専修大学インターンシップ学生企画 ＜太郎を壊せ！＞

日 時 2017 年 10 月 8 日(日) 14：00～15：30
内 容 専修大学生によるツアーガイドとワークショップイベント。企画展「岡本太郎と遊ぶ」展で“顔”をモチーフにした作品についてのワンポイントトークをした後、プリントした岡本太郎の作品を破き、新たな顔をつくりました。参加者の方から作品とじっくり向き合い制作することで、作品に対する造詣を深められたと感想をいただきました。



場 所 企画展示室、創作アトリエ
料 金 無料
参加人数 20 名

専修大学インターンシップ学生企画

<太郎を愛した女 ～敏子と“恋”してみない？>

日 時 2017年10月14日(土) ①13:00～14:00 ②15:00～16:00
内 容 専修大学生によるツアーガイドイベント。岡本太郎の秘書であり、母であり娘であり妻であった岡本敏子の生前の名言をふまえながらガイドツアーをおこない普段とは違った角度から岡本太郎作品に対する造詣を深めました。
場 所 常設展示室
料 金 無料
参加人数 ①7名 ②7名



<はいはい&よちよち美術館ツアー>

日 時 ①2017年10月11日(水)②11月8日(水)
10:30～11:30
内 容 親子で一緒に鑑賞を楽しみ、お子さんの反応を確かめながらお子さんの様子を通して作品をみてもらったり作品を介しての親子のコミュニケーションを図ったり小さな子に無理なく美術館の雰囲気を味わってもらい鑑賞会を行いました。
場 所 ガイダンスホール～常設展示室
対 象 3ヵ月～3才の乳幼児とご家族
講 師 学芸 普及企画
料 金 要観覧料
参加人数 ①3組 ②20組 当日受付



専修大学企画

<太郎を彩る>

日 時 2017年①10月15日(日) ②11月5日(日)
各日 13:00～16:00
内 容 専修大学生によるワークショップ、生田緑地内で採集した植物でロールパンケースの布を染め、岡本太郎の作品を観てから FABRIERE という樹脂顔料で装飾しました。草木染めの自然な地色に鮮やかな模様が映える世界でひとつだけのパンケースになりました。
場 所 常設展示室、創作アトリエ
料 金 500円
参加人数 ①11名 ②10名(2人×5組)



<TARO トンボを秋の空に飛ばせ！>

日 時 2017年11月12日(日) 10:00～11:30 13:30～16:00
内 容 多摩区主催のピクニックマルシェにおいて、紙トンボに絵を描き、生田緑地で遊び楽しんでもらうワークショップを開催しました。岡本太郎作品の紙トンボ塗り絵を用意し、カラフルなトンボが広場を彩りました。家族みんなで楽しめるワークショップになりました。
場 所 母の塔広場



対 象 どなたでも
参加人数 約 300 名 (先着順 100 個)

<はいはい&よちよち美術館ツアー>

日 時 ①2018 年 2 月 14 日(水) ②3 月 14 日(水) 10:30~11:30
内 容 親子で一緒に鑑賞を楽しみ、お子さんの反応を確かめながらお子さんの様子を通して作品をみてもらったり作品を介しての親子のコミュニケーションを図ったり小さな子に無理なく美術館の雰囲気味わってもらったりする鑑賞会を行いました。前回の振り返りからより充実させるために電話受付により 10 組を対象として行いました。

場 所 ガイダンスホール~常設展示室
対 象 3 カ月~3 才の乳幼児とご家族 先着 10 組
講 師 学芸 普及企画
料 金 要観覧料
参加人数 ①11 組 ②10 組 事前電話受付



<大人のための TARO 塗り絵>

内 容 岡本太郎の展示作品や第 21 回 TARO 賞の作品を見た後、岡本太郎作品の塗り絵を、色々な画材、技法を学びながら体験していただきました。

日 時 2018 年 2 月 17 日(土) 13:30~16:00
場 所 美術館創作アトリエ ほか
料 金 1200 円(観覧料含む)
対 象 20 歳以上 先着 20 名
参加人数 6 名



<Taro バースデーコンサート>

内 容 岡本太郎の誕生日を祝って、コンサートを行いました。多彩なプログラムをお楽しみいただきました。

日 時 2018 年 2 月 24 日(土) 12:05~12:45
場 所 美術館ギャラリースペース
出 演 熊谷仁士(トランペット) 常山こずえ(フルート)
竹下久美(ピアノ)
対 象 どなたでも(当日先着順)
料 金 無料(椅子席 70 席のみ要観覧券)
参加人数 155 名



<宮前ミュージックミュージアム>

内 容 コンサートの他、宮前区にちなんだ特別企画を開催。音楽とアートの一日を楽しんでいただきました。

日 時 2018年3月21日(水祝) 14:00~15:30

場 所 美術館ギャラリースペース

出 演 安藤梨乃(ヴァイオリン) 中野綾子(ヴィオラ) 成澤美陽(チェロ)

対 象 どなたでも(当日先着順)

料 金 無料

参加人数 101名



■団体利用実績■

学校や教育機関による団体での鑑賞学習や、美術館を利用したグループ学習については、利用する教育機関側と美術館職員が事前に打ち合わせを行い、対象年齢や学習目的に応じた鑑賞プログラムを作成しています。

月	小学校		中学校		高校・大学		特別支援学校等		幼稚園・保育園		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	2	176	1	13	0	0	0	0	0	0	0	0	3	189
5	1	146	1	136	3	97	0	0	0	0	0	0	5	379
6	9	1050	2	286	3	92	2	23	1	38	0	0	17	1489
7	2	177	1	49	4	72	0	0	0	0	1	8	8	306
8	1	92	0	0	0	0	1	26	0	0	1	40	3	158
9	8	1056	1	32	1	17	1	8	0	0	0	0	11	1113
10	9	935	0	0	2	64	0	0	1	43	1	31	13	1073
11	9	1173	1	153	3	80	0	0	1	25	2	41	16	1472
12	11	1332	1	106	0	0	1	26	0	0	2	39	15	1503
1	2	161	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	161
2	4	412	0	0	0	0	1	7	0	0	1	10	6	429
3	1	90	2	149	2	20	0	0	4	108	0	0	9	367
計	59	6800	10	924	18	442	6	90	7	214	8	169	108	8639

■学校プログラム■

<職業体験・インターンシッププログラム>

内 容 体験を通して美術館で働く人達と接し、施設の目的や内容を広く学んでもらうための活動。学芸員の仕事、施設管理の仕事、ミュージアムショップの仕事、監視・受付の仕事の中から日程に合わせて選択し、各1時間程度体験します。

今年度受入校数 13校



<出張プログラム>

内 容 美術館から遠い、校外活動は時間がかかる等、様々な理由で来館できない学校を主な対象として、出張授業を行っています。美術館職員が学校を訪問し、教材を持ち込んで鑑賞活動を進めます。

今年度受入校数 11 校



■教材開発と利用■

<映像資料>

「岡本太郎の芸術」

時間：20 分

内容：岡本太郎の生い立ち、絵画、彫刻、デザイン、著作フィールドワークなど様々な活動の記録を分かりやすく解説
*デロップ入りの聴覚障害者向けビデオあり（内容は同じ）



「マナーDVD」

内容：小学生以下の子ども向けにつくった美術館でのマナーを簡単にまとめたもの。



<作品プリント>

「代表作品」



【パウチ加工 36 作品 42.5×30.0】

内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全 14 作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全 19 作品

レリーフ：《天に舞う》全 1 作品

写 真：《縄文土器》他 全 2 作品

*個々の作品についての解説書付き

「遊ぶ字」



【パウチ加工 40 作品 42.5×30.0】

内容

《夢》《遊》《笑》《楽》《晴》《歌》

《喜》《音》《若》《海》他 全 40 作品

<大型作品プリント>



内容：《傷ましき腕》《重工業》《森の掟》《夜》《空間》全 5 作品

<作品カード（アートカード）>

内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全 7 作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全 10 作品

版 画：《眼》《夢》全 2 作品レリーフ：《マスク》全 1 作品

インダストリアル：《顔のグラス》他 全 3 作品



【バウチ加工 24 作品 12.0×18.0】

<子ども向けパンフレット>

岡本太郎の作品を年代順に紹介し、両親である岡本一平・かの子について、川崎市内に設置されている太郎作品、美術館の案内図などを掲載した小・中学生向けのパンフレット。裏面は切り取って使用できるはがきになっており、子どもたちが感想などを自由に書いて美術館へ送ることが出来ます。（届いたはがきは、館内のギャラリースペースで閲覧可能）



子供達からの感想

<子ども向け自由鑑賞ワークシート>

鑑賞コースに 29 年度より自由鑑賞コースを追加し、自分で書き込むワークシートを用意しました。書き込みながらじっくり作品と向き合うことができるよう、美術館の案内図と問い、感想や絵を自由に描き込めるメモ欄があります。



■美術館教育研究会■

日 時 2018 年 2 月 22 日 (木) 15:00～16:30

場 所 岡本太郎美術館 創作アトリエ

議 題 (1) 29 年度の普及事業報告

○学校対応事業

○学校・地域連携事業

○イベント・ワークショップ事業

(2) 30 年度の教育普及事業予定

○学校団体利用について

・学校団体鑑賞プログラムの内容

・子ども用パンフレットの活用、鑑賞ワークシート作成

○展覧会、イベント予定

・キッズ TARO 展について

(3) その他

出席者 小・中学校、大学：中臣信丈（新城小学校校長）、金井則夫（造形大学客員教授）、北潟美波（枳形中学校教諭）、柳原麻子（中野島中学校教諭）、鈴木寿子（稲田中学校教諭）、木村光紘（住吉小学校教諭） 渋谷典子（菅生小学校）、小澤朋子（古川小学校）、眞砂野礼（川中島小学校）

美術館：佐藤玲子（普及企画担当係長）、山崎千加子（普及企画係主任）、橋本文恵、北川裕介、千村曜子（普及企画係非常勤職員）

8.川崎市文化芸術振興会議施設部会

川崎市文化芸術振興会議施設部会

第 1 回

日 時：2017 年 9 月 29 日（金）10:00～12:00

場 所：岡本太郎美術館・創作アトリエ

出席委員：

部会長 勅使河原 純（美術評論家）

委員 杉浦 幸子（武蔵野美術大学芸術文化学科教授）、藤嶋 俊 會（美術評論家）、
室井 絵 里（インディペンデントキュレーター）

議 事：

(1) 平成 29 年度事業経過・予定について

ア 展覧会事業

・企画展

「岡本太郎×建築」展

「岡本太郎と遊ぶ」展

「岡本太郎とメディアアート」展

「第 21 回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」展

・常設展

イ 資料収集・整理、調査研究

ウ 作品の保存・修復、貸出

エ 普及企画

オ 広報活動

カ 施設・設備の整備

キ その他：予算・決算、統計データ等について

(2) 平成 30 年度事業予定について

第 2 回

日 時：2018 年 3 月 7 日（火）14:00～16:30

場 所：岡本太郎美術館・創作アトリエ

出席委員：

部会長 勅使河原 純（美術評論家）

委員 杉浦 幸子（武蔵野美術大学芸術文化学科教授）、藤嶋 俊 會（美術評論家）、
室井 絵 里（インディペンデントキュレーター）

議 事：

(1) 平成 29 年度事業報告について

ア 展覧会事業

・企画展

「岡本太郎×建築」展

「岡本太郎と遊ぶ」展

「岡本太郎とメディアアート」展

「第 21 回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」展

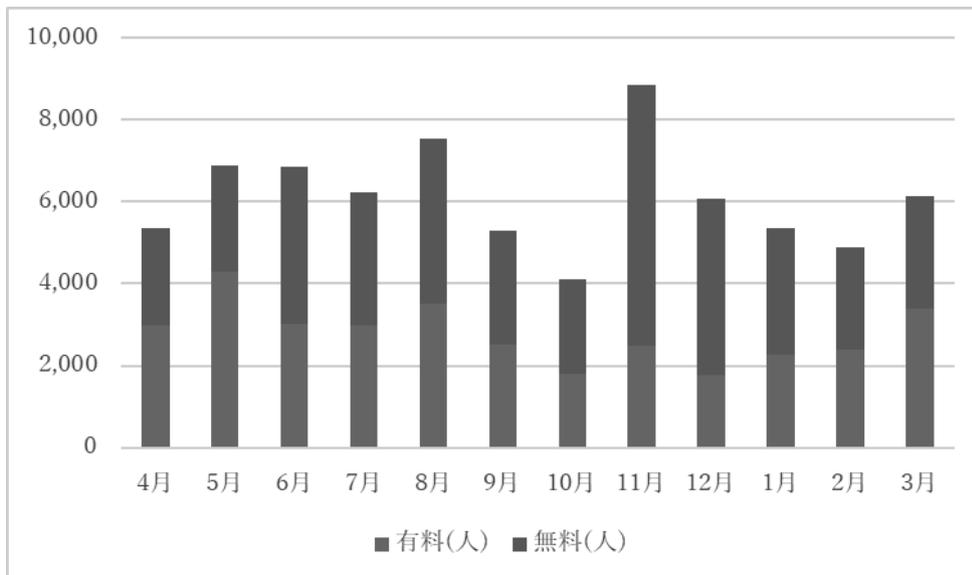
- ・常設展
 - ・パフォーマンス
 - ・学術活動
 - イ 資料収集・整理、調査研究
 - ウ 作品の保存・修復、貸出
 - エ 普及企画
 - オ 広報活動
 - カ 施設・設備の整備
 - キ その他：予算・決算、統計データ等について
- (2) 平成 30 年度事業予定について

Ⅱ. 資料

1. 入館者数統計

【平成 29 年度 月別入館者数】

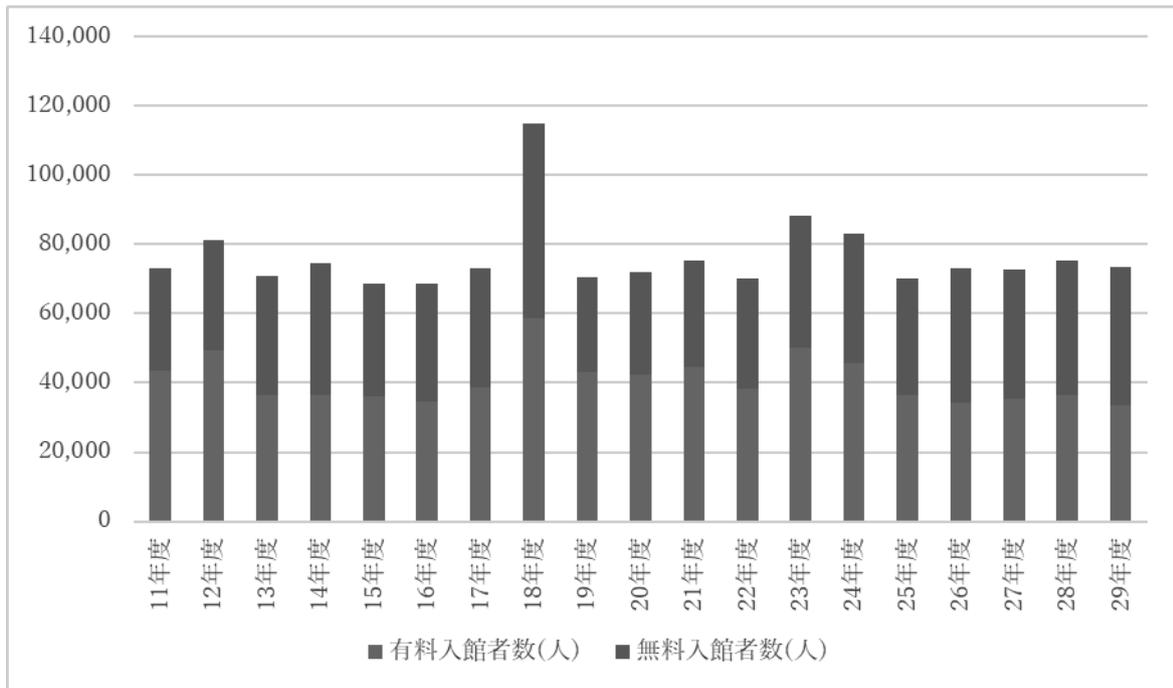
月	開館日数(日)	一日平均(人)	有料(人)	無料(人)	合計(人)
4	24	223	2,995	2,364	5,359
5	26	265	4,302	2,589	6,891
6	26	264	3,011	3,841	6,852
7	24	260	2,971	3,256	6,227
8	27	279	3,520	4,008	7,528
9	26	203	2,518	2,770	5,288
10	19	217	1,789	2,324	4,113
11	23	385	2,480	6,374	8,854
12	24	252	1,754	4,301	6,055
1	22	243	2,265	3,076	5,341
2	22	222	2,406	2,475	4,881
3	25	245	3,378	2,751	6,129
合計	288	255	33,389	40,129	73,518



【年度別入館者数】

	開館日数	有料入館者	無料入館者	合計	一日平均
11 年度	124	43,420	29,593	73,013	586
12 年度	292	49,532	31,837	81,369	279
13 年度	298	36,363	34,613	70,976	238
14 年度	298	36,466	38,259	74,725	247
15 年度	293	36,199	32,296	68,495	234
16 年度	287	34,607	34,183	68,790	240
17 年度	293	38,682	34,382	73,064	249
18 年度	296	58,619	56,197	114,816	388
19 年度	296	43,061	27,360	70,421	237
20 年度	294	42,545	29,443	71,988	245
21 年度	293	44,541	30,906	75,447	257
22 年度	284	38,422	31,611	70,033	247
23 年度	287	50,053	37,989	88,042	307
24 年度	284	45,777	37,260	83,037	292
25 年度	298	36,322	33,862	70,184	236
26 年度	296	34,370	38,800	73,170	247
27 年度	296	35,253	37,330	72,583	245
28 年度	294	36,417	38,922	75,339	256
29 年度	288	33,389	40,129	73,518	255
合 計	5,391	774,038	674,972	1,449,010	269

※岡本太郎美術館の開館日：1999（平成 11）年 10 月 30 日



2. 美術館事業 予算・決算概要

予算概要

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳 出	非常勤職員経費	12,235	
	報酬	9,545	館長及び非常勤職員報酬
	共済費	2,690	非常勤職員分
	学芸業務事業費	50,018	
	共済費	10	臨時職員分
	賃金	3,128	臨時職員賃金
	報償費	2,888	企画展協力謝礼 資料収集・評価委員会謝礼等
	旅費	814	企画展等調査旅費
	需用費	1,682	図書・雑誌代 展示上映用消耗品 情報事業用消耗品 教育普及用消耗品 燃料費 食糧費 印刷製本費
	役務費	121	広告料
	委託料	17,089	展示上映事業（企画展 4 本、常設展展示替） 情報事業 教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	6,827	O A 機器賃借料 展示上映使用料賃借料
	備品購入費	1,744	美術作品・資料購入 庁用備品購入 図書購入
	負担金補助金及び 交付金	15,715	平成 29 年度川崎市地域博物館等連絡会 平成 29 年度全国美術館会議 平成 29 年度神奈川県博物館協会等 美術館連絡協議会企画展負担金

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳 出	管理運営事業費	106,760	
	管理運営委託料	106,760	指定管理委託料
	資料デジタル化事業費	6,090	
	共済費	6	臨時職員分
	賃金	1,785	臨時職員賃金
	需要費	649	消耗品
	委託料	3,650	映像デジタル化・写真デジタル化
	美術館維持補修事業費	12,319	
	委託料	1,388	連通管バルブ交換等
	工事請負費	10,931	エレベータ補修
	岡本太郎作品補修事業費	5,401	
	委託料	5,401	「誇り」補修
	美術館施設整備事業費	34,451	
	委託料	6,713	天井補修等
	工事請負費	27,738	天井補修等
計		227,274	
歳 入	使用料	38,930	観覧料
	その他使用料	1,289	カフェテリア使用料・資料等特別利用料
	納付金	1,304	非常勤職員分
	雑入	8,898	図録等売上・音声ガイド利用料・助成金・イベント収入
計		50,421	

決算概要

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳 出	非常勤職員経費	11,724	
	報酬	9,133	館長及び非常勤職員報酬
	共済費	2,591	非常勤職員分
	学芸業務事業費	48,879	
	共済費	10	臨時職員分
	賃金	2,721	臨時職員賃金
	報償費	2,869	企画展協力謝礼 資料収集・評価委員会謝礼等
	旅費	641	企画展等調査旅費
	需用費	1,542	図書・雑誌代 展示上映用消耗品 情報事業用消耗品 教育普及用消耗品 燃料費 食糧費 印刷製本費
	役務費	105	広告料
	委託料	17,053	展示上映事業（企画展 4 本、常設展展示替） 情報事業 教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	6,826	O A 機器賃借料 展示上映使用料賃借料
	備品購入費	1,401	美術作品・資料購入 庁用備品購入 図書購入
	負担金補助金及び 交付金	15,711	平成 29 年度川崎市地域博物館等連絡会 平成 29 年度全国美術館会議 平成 29 年度神奈川県博物館協会等 美術館連絡協議会企画展負担金

	事項名	予算額	主な内容
歳 出	管理運営事業費	106,760	
	管理運営委託料	106,760	指定管理委託料
	資料デジタル化事業費	5,787	
	共済費	6	臨時職員分
	賃金	1,559	臨時職員賃金
	需要費	582	消耗品
	委託料	3,640	映像デジタル化・写真デジタル化
	美術館維持補修事業費	10,592	
	委託料	1,338	連通管バルブ交換等
	工事請負費	9,254	エレベータ補修
	岡本太郎作品補修事業費	5,523	
	委託料	5,523	「誇り」補修
	美術館施設整備事業費	31,028	
	委託料	7,045	天井補修等
	工事請負費	23,576	天井補修等
計		220,293	
歳 入	使用料	24,912	観覧料
	その他使用料	1,209	カフェテリア使用料・資料等特別利用料
	納付金	1,259	非常勤職員分
	雑入	1,348	図録等売上・音声ガイド利用料・助成金・イベント収入
計		28,728	

Ⅲ. 組織名簿 (29 年度)

1. 川崎市文化芸術振興会議施設部会委員名簿 (任期 2017 年 10 月 1 日～2018 年 9 月 30 日)

部会長	勅使河原 純 (美術評論家)
委員	杉 浦 幸 子 (武蔵野美術大学芸術文化学科教授)
委員	藤 嶋 俊 會 (美術評論家 (文化芸術振興会議委員))
委員	光 田 由 里 (D I C 川村記念美術館学芸課長)
委員	室 井 絵 里 (インディペンデントキュレーター)

2. 川崎市岡本太郎美術館 職員名簿

館長	北 條 秀 衛	主任 (普及企画)	山 崎 千 加 子
副館長	荻 原 圭 一	職員 (学芸)	飯 島 祥 平
課長補佐 (学芸)	大 杉 浩 司	嘱託職員 (学芸)	木 下 紗 耶 子
担当係長 (管理)	西 泉 壯 一	嘱託職員 (普及企画)	橋 本 文 恵
担当係長 (学芸)	佐 々 木 秀 憲	嘱託職員 (普及企画)	北 川 裕 介
担当係長 (普及企画)	佐 藤 玲 子	嘱託職員 (普及企画)	千 村 曜 子
主任 (学芸)	片 岡 香		

IV. 川崎市岡本太郎美術館概要

1. 美術館の目的

川崎市岡本太郎美術館は、川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎氏から寄贈された美術作品及び資料をコレクションの中心として岡本太郎芸術の背景となった両親のかの子、一平の芸術、並びに近現代美術についての収集と展示を主な事業としています。また新しい芸術を創造するための収集、展示などを行い、市民の利用に供するものとします。

更には、単なる美術、芸術鑑賞の場にとどまることなく、市民の美術、芸術に関する創造活動を促進し、市民の芸術及び文化の発展に寄与することを目的としています。

2. 美術館事業内容

収集・保存

岡本太郎、一平、かの子に関する作品、資料、また近現代の美術作品を収集し、収蔵庫での燻蒸や必要に応じて資料の修復を行うなど、作品の保存管理を行います。

調査研究

- ・岡本太郎、一平、かの子作品とその周辺の美術、国内外の現代美術に関する調査と研究。
- ・美術館における展示方法や作品・資料の修復、保存の研究。
- ・美術館の普及活動における調査研究。

展 示

(常設展示)

常設展示室では、岡本太郎の作品の紹介とその背景となる一平、かの子の作品、資料の展示替えを年 4 回行います。

(企画展示)

企画展示室では、岡本太郎芸術に関連するテーマ展、新人作家展、子供向け展覧会など幅広いジャンルに渡る企画展を年 4 回の割合で行います。

情報・出版

情報コーナーとガイダンスホールでは、岡本太郎作品や芸術についての情報や映像を来館者に無料で提供します。また美術館ホームページやミュージアムニュースなどさまざまなメディアを通して外部への情報を発信し、美術館と人とのコミュニケーション作りをめざしています。

普 及

子供から成人まで、さまざまな年齢層に応じ、ワークショップ、講演会、講座などのイベントや、貸出教材、ビデオ等での岡本太郎や美術館の紹介など、だれもが気軽に美術に親しめるための普及活動を行います。また他の美術館、教育施設と連携したイベント等の事業にも活動を広げていきます。

3. 美術館沿革

平成 3 年 4 月 川崎市市民ミュージアム「川崎生まれの鬼才・岡本太郎」展開催

11 月 岡本太郎氏の所有する主要作品 352 点が寄贈される(第一次)

平成 5 年 1 月 岡本太郎氏に川崎市名誉市民を贈る

岡本太郎氏の所有する主要作品 1427 点が追加寄贈される(第二次)

4 月 岡本太郎記念館準備室 発足

川崎市市民ミュージアム「TARO 万華鏡」展開催

- 平成 6 年 4 月 岡本太郎記念館準備室から岡本太郎美術館準備室に名称変更
- 平成 7 年 11 月 広島市現代美術館にて「岡本太郎」展開催
- 平成 8 年 1 月 岡本太郎 逝去（享年 84 歳）
- 6 月 アートガーデンで川崎「岡本太郎追悼」展開催
- 11 月 生田緑地にて美術館建設工事着工
- 平成 9 年 9 月 新百合トゥエンティワンで「'97 TARO」展開催
- 平成 10 年 5 月 岡本敏子氏により、青山のアトリエに岡本太郎記念館が開館する
- 平成 11 年 2 月 美術館建設工事、展示工事竣工(工期 2 年 3 ヶ月)
- 4 月 岡本太郎美術館準備室から川崎市岡本太郎美術館に名称変更
村田慶之輔氏が館長に就任
シンボルタワー「母の塔」工事竣工
- 10 月 川崎市岡本太郎美術館開館
開館記念展「多面体・岡本太郎—哄笑するダイナミズム—」展開催
- 平成 15 年 4 月 岡本敏子氏の所有する岡本太郎関連資料 1,827 点が寄贈される(第三次)
- 平成 16 年 3 月 多摩区役所 1F ロビーに《樹霊》設置
- 4 月 「肉体のシュルレアリスム舞踏家土方巽抄」展(2003 年)より、第 35 回舞踏批評家協会賞を受賞
- 10 月 開館 5 周年記念「テレビ発掘まる裸の太郎展」開催
- 平成 17 年 3 月 北代省三氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4 月 岡本太郎の養女・岡本敏子逝去
- 10 月 多摩区役所 1F ロビーに《樹霊》にかわり《月の顔》設置
- 平成 18 年 2 月 入館者 50 万人達成
- 平成 21 年 4 月 開館 10 周年記念展「岡本太郎の絵画」開催
- 平成 23 年 2 月 岡本太郎生誕 100 年 誕生日記念イベント開催
- 3 月 東京国立近代美術館で「生誕 100 年 岡本太郎」展開催
- 4 月 「生誕 100 年人間・岡本太郎展」開催
- 10 月 岡本太郎生誕 100 年記念イベント ダンス公演「TARO と踊ろう！」開催
- 平成 24 年 3 月 入館者 100 万人達成
- 4 月 北條秀衛氏が館長に就任、村田慶之輔氏が名誉館長に就任
- 平成 25 年 3 月 池田龍雄氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4 月 生田緑地一部指定管理者制度導入
- 平成 26 年 3 月 生田緑地西口園路開通
- 7 月 川崎市制 90 周年記念展「岡本太郎とアール・ブリュット 生の芸術の地平へ」展
- 10 月 開館 15 周年記念展「T A R O 賞の作家Ⅱ」展開催
- 11 月 開館 15 周年記念イベント「T A R O 祭り」開催
- 平成 27 年 2 月 《母の塔》補修工事完了
- 4 月 川崎市岡本太郎美術館資料収集委員会、資料評価委員会廃止
- 6 月 川崎市岡本太郎美術館協議会廃止
- 10 月 川崎市文化芸術振興会議施設部会設置

4. 施設・設備概要

常設展示室 (1,026 m²)

岡本太郎の多岐にわたる分野を越えた幅広い芸術作品や著作、パフォーマンス、フィールドワーク等の活動、また思想的な背景となる民族学やパリ時代での交友など多面体の岡本太郎の軌跡を伝えるためには、その表現世界の広がりに応える展示環境が不可欠でした。

常設展示室は、芸術活動の分野や内容、作品の特徴や形状、時代毎の傾向などによって、展示室全体が複雑に分節され、それぞれに独自の空間と役割を与えられた部屋が柔らかく結ばれた迷路のように作られています。そこには順路はなく来館者は迷宮の様な空間を歩きながら岡本太郎と出会い、その断片を発見する旅が始まるのです。

各ゾーンには作品を映像・グラフィックと共に見せる絵画ゾーン、作品そのものによって空間を構成し、照明効果、映像の演出によって様々な表情を見せる彫刻のゾーン、また多面的な活動をわかりやすく紹介する展示空間など、それぞれが岡本太郎を訪ねる旅の一場面となっています。

これら従来の作品を単に鑑賞する美術館から、子供から大人まで、理屈抜きに岡本太郎を肌で感じ体験できる展示空間として、楽しんでいただけます。



企画展示室 (828 m²)

岡本太郎に関わる展示だけでなく、新人作家の紹介や、現代美術、子供の創造性を高める参加型の展覧会など様々な展示に対応できる空間です。中央に外光を取り入れるための光庭が配置され、828 m²の空間は可動壁によって、いくつものパターンの展示空間を作ることができます。



母の塔

岡本太郎美術館のシンボルタワー「母の塔」は、「大地に深く根ざした巨木のたくましさ」と「ゆたかでふくよかな母のやさしさ」「天空に向かって燃えさかる永遠の生命」をテーマとして製作されました。製作にあたっては原型を3次元解析して得た座標数値を基に、正確に再現しています。

外装のGRCパネルは高い強度と精度管理のしやすさから、またクラッシュタイルは3次曲線に追従し、かつ目地処理が容易であることから選ばれました。外装の「タローホワイト」と名付けた特殊な色のタイルは、光を浴びるとゆっくりと表情を変え、微妙な歪みや揺らぎを見ることができます。

施工に際しては、空中における3次元座標の管理、複雑な形状とデリケートな作業、合理的な仮設計画等から、全ての作業を作業床で完了させるジャッキアップ工法が取り入れられ、先端部分から順に完成させては押し上げる、まるで大地から生えてくるような、制作のプロセスそのものもダイナミックで芸術的な施工方法で完成しました。



- 名称・・・・・・母の塔
- 原作者・・・・・・岡本太郎
- 原型制作年・・・・1971 年
- 設計・・・・・・川崎市教育委員会、現代芸術研究所
- 施工・・・・・・戸田・北島共同企業体
- 建物用途・・・・工作物（屋外彫刻）
- 構造・・・・・・鉄骨造（塔体パイプトラス+鋳鋼ジョイント）
- 全高・・・・・・30m
- 工法・・・・・・ジャッキアップ工法
- 支持杭・・・・現場造成杭（機械掘深礎工漬）径 2m、7 本
- 外装・・・・・・外殻 GRC クラッシュパネル
仕上 クラッシュタイル（スコルト加工）
- 人形彫刻・・・・FRP ブロンズ仕上 16 体 H=3.0~5.6m
内部 常温亜鉛メッキ鉄骨補強
- その他設備・・・・照明設備、避雷



V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則

1. 条例

(目的及び設置)

第1条 川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎を中心とした美術作品及び資料の収集、展示等を行い、市民の利用に供するとともに、市民の美術に関する創造的活動を促進し、もって市民の芸術及び文化の発展に寄与するため、川崎市岡本太郎美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 美術館の位置は、川崎市多摩区枳形7丁目1番5号とする。

(事業)

第3条 美術館は、第1条の目的を達成するため、おおむね次の事業を行う。

- (1) 美術作品及び資料（以下「美術作品等」という。）の収集、保管、展示等を行うこと。
- (2) 美術作品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術作品等に関する情報の提供を行うこと。
- (4) 講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (5) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、情報の交換、美術作品等の相互貸借等を行うこと。

(職員)

第4条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

(指定管理者)

第5条 市長は、法人その他の団体であって次の要件を満たすものとしてその指定するもの（以下「指定管理者」という。）に美術館の管理を行わせる。

- (1) 美術館の管理を行うに当たり、市民の平等な利用が確保できること。
- (2) 事業計画書の内容が、美術館の効用を最大限に発揮するとともに管理経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画書の内容に沿った美術館の管理を安定して行う能力を有すること。

2 前項の指定を受けようとするものは、事業計画書その他市長が必要と認める書類を市長に提出しなければならない。

3 市長は、第1項の指定をしたときは、その旨を告示する。

(指定管理者が行う管理の基準)

第6条 指定管理者は、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、美術館の管理を行わなければならない。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第7条 指定管理者は、次に掲げる業務を行わなければならない。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (2) 美術館の広報活動に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

(開館時間及び休館日)

第8条 美術館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、開館時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

開館時間	午前9時30分から午後5時まで
休館日	(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く。） (2) 休日の翌日（土曜日、日曜日及び休日を除く。） (3) 12月29日から翌年の1月3日までの日（前2号に掲げる日を除く。）

(観覧料)

第9条 常設展又は企画展の展示会場へ入場しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別利用)

第10条 美術作品等について熟覧、模写、模造、撮影又は原板使用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める区分に応じ同表に定める特別利用料を納付しなければならない。

3 特別利用料は、許可と同時に納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

4 市長は、第1項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他市長が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。

(受講料等)

第11条 市長は、第3条第4号に規定する事業を行うに当たっては、受講料又は入場料を徴収することができる。

2 前項の受講料及び入場料の額は、市長がその都度定める。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、特に必要があると認めるときは、第9条に規定する観覧料及び第10条第2項に規定する特別利用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の還付)

第 13 条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館等の制限)

第 14 条 指定管理者は、他人の迷惑となるおそれのある者その他管理上支障があると認められる者については、入館を断り、又は退館させることができる。

(損害の賠償)

第 15 条 美術作品等又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(委任)

第 16 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。(平成 11 年 6 月 30 日規則第 69 号で平成 11 年 10 月 30 日から施行)

附 則 (平成 12 年 12 月 21 日条例第 79 号)

この条例は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 17 年 9 月 30 日条例第 88 号)

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 18 年 12 月 14 日条例第 77 号)

この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 19 年 3 月 20 日条例第 18 号抄)

この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 19 年 10 月 9 日条例第 47 号)

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律(平成 19 年法律第 96 号)の施行の日又はこの条例の公布の日のいずれか遅い日から施行する。

附 則 (平成 21 年 12 月 24 日条例第 47 号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

(川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置)

12 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

- (1) 川崎市スポーツ振興審議会条例
- (2) 川崎市とどろきアリーナ条例
- (3) 川崎市体育館条例
- (4) 川崎市スポーツセンター条例
- (5) 川崎市武道館条例
- (6) 川崎市市民ミュージアム条例

(7) 川崎市岡本太郎美術館条例

(8) 川崎市大山街道ふるさと館条例

附 則 (平成 24 年 3 月 19 日条例第 4 号)

この条例は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 4 条の次に 4 条を加える改正規定(第 5 条(指定管理者に美術館の管理を行わせることに係る部分を除く。))に係る部分に限る。)及び第 12 条の改正規定(同条を第 16 条とする部分を除く。)は、公布の日から施行する。

附 則 (平成 27 年 3 月 23 日条例第 2 号抄)

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

- (1) 第 16 条、第 17 条及び第 20 条の規定 平成 27 年 5 月 1 日
- (2) 第 3 条の規定 平成 27 年 6 月 1 日
- (3) 第 19 条の規定 平成 27 年 7 月 1 日
- (4) 第 7 条の規定 平成 28 年 4 月 1 日
- (5) 第 12 条、第 14 条及び第 15 条の規定 平成 28 年 5 月 1 日
- (6) 第 2 条、第 4 条、第 11 条、第 13 条及び第 18 条の規定 平成 28 年 6 月 1 日
- (7) 第 6 条の規定 平成 28 年 9 月 1 日
- (8) 第 5 条の規定 平成 28 年 10 月 1 日
- (9) 第 8 条の規定 平成 28 年 11 月 1 日

附 則 (平成 28 年 3 月 24 日条例第 30 号)

この条例は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1 (第 9 条関係)

1 普通観覧料

(1) 常設展の観覧料

区分	個人	団体
高校生・大学生及び 65 歳以上の者	300 円	1 人につき 240 円
一般	500 円	1 人につき 400 円

備考

1 団体とは、20 人以上をいう。

2 学齢に達しない者及び学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号。以下「法」という。)第 1 条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。

3 高校生・大学生とは、法第 1 条に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程、大学及び高等専門学校、法第 124 条に規定する専修学校、法第 134 条に規定する各種学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者をいう。

4 一般とは、前 2 項に規定する者及び 65 歳以上の者以外の者をいう。

- 5 企画展の観覧料を納付した者は、無料とする。
- (2) 企画展の観覧料
1人につき 2,000 円の範囲内で市長がその都度定める。
- 2 共通利用券

種別	金額
100 円券 12 枚つづり	1,000 円
100 円券 25 枚つづり	2,000 円

備考 共通利用券は、次に掲げる施設の入場等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体（20 人以上をいう。）の入場等については、この限りでない。

- (1) 美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場
- (2) 川崎市市民ミュージアム条例(昭和 62 年川崎市条例第 45 号)に規定する川崎市市民ミュージアムにおいて川崎市市民ミュージアムが行う企画展の展示会場への入場
- (3) 川崎市青少年科学館条例(昭和 46 年川崎市条例第 24 号)に規定する川崎市青少年科学館のプラネタリウムの一般投影又は特別投影の観覧
- (4) 川崎市立日本民家園条例(昭和 42 年川崎市条例第 19 号)に規定する川崎市立日本民家園への入園

3 特別入場券

市長は、7,000 円の範囲内で定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第 2（第 10 条関係）

区分	単位	特別利用料
熟覧	1 点 1 日	200 円
模写		1,000 円
模造		1,000 円
撮影	1 点	300 円
原板使用	1 枚	2,000 円

2. 条例施行規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、川崎市岡本太郎美術館条例（平成 11 年川崎市条例第 25 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(公告)

第 2 条 市長は、条例第 5 条第 1 項の規定により川崎市岡本太郎美術館（以下「美術館」という。）の管理を行わせるため、法人その他の団体（以下「法人等」という。）を指定しようとするときは、あらかじめ次に掲げる事項を公告する。

- (1) 管理を行わせる施設の名称及び所在地
- (2) 条例第 5 条第 1 項に規定する指定管理者（以下「指定管

- 理者」という。）が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の予定期間（以下「指定予定期間」という。）
- (4) 条例第 5 条第 2 項の規定による事業計画書その他市長が必要と認める書類の提出（以下「事業計画書等の提出」という。）の方法
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項（事業計画書等の提出）

第 3 条 事業計画書等の提出は、市長が定める期間内にしなければならない。

2 条例第 5 条第 2 項に規定する事業計画書その他市長が必要と認める書類は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定予定期間に属する各年度の美術館の管理に係る事業計画書及び経費見積書
- (2) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書（法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類）
- (3) 事業計画書等の提出をする日（以下「提出日」という。）の属する事業年度の前事業年度における財産目録、貸借対照表及び損益計算書若しくは活動計算書又は収支計算書。ただし、提出日の属する事業年度に設立された法人等にあつては、その設立時における財産目録とする。
- (4) 提出日の属する事業年度及び翌事業年度における法人等の事業計画書及び活動予算書又は収支予算書
- (5) 役員の名簿及び履歴書
- (6) 組織及び運営に関する事項を記載した書類
- (7) 現に行っている業務の概要を記載した書類
- (8) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類（指定管理予定者）

第 4 条 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が 2 以上あるときは、条例第 5 条第 1 項各号に掲げる要件（以下「指定要件」という。）を満たし、かつ、次に掲げる業務を行う上で最も適切と認めるものを指定管理者の予定者（以下「指定管理予定者」という。）とする。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (2) 美術館の広報活動に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務
- 2 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が 1 である場合において、指定要件を満たすときは、当該法人等を指定管理予定者とする。
- 3 市長は、前条第 1 項に規定する市長が定める期間内に事業計画書等の提出をした法人等がないとき、又は前 2 項の指定管理予定者がないときは、再度、第 2 条の規定による公告を行う。

(通知)

第 5 条 市長は、条例第 5 条第 1 項の指定をしたときは、指

定された法人等に対し、指定管理者指定書（第 1 号様式）により通知する。

（協定）

第 6 条 指定管理者は、市長と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 管理に要する費用に関する事項
- (3) 管理を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (4) 管理の業務の報告に関する事項
- (5) 指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (6) 川崎市契約条例（昭和 39 年川崎市条例第 14 号）に規定する作業報酬に関する事項
- (7) その他市長が必要と認める事項

（事務の委任）

第 7 条 次に掲げる事務は、川崎市岡本太郎美術館長（以下「館長」という。）に委任する。

- (1) 条例第 10 条に規定する特別利用（以下「特別利用」という。）の許可、許可の取消し等に関する事
 - (2) 条例第 12 条に規定する観覧料等（以下「観覧料等」という。）の減額又は免除に関する事
 - (3) 条例第 13 条の規定による観覧料等の還付に関する事
- （観覧券等の交付）

第 8 条 館長は、条例第 9 条の規定による観覧料の納付と引換えに観覧券、共通利用券又は特別入場券を交付するものとする。

（特別入場券）

第 9 条 市長は、条例別表第 1 の 3 の規定により次の特別入場券を発行することができる。

- (1) 定期券
- (2) 共通入館券
- (3) 優待券
- (4) 前売券

2 前項の特別入場券を発行する場合及びその額は、その都度市長が定める。

（特別利用の申請等）

第 10 条 条例第 10 条第 1 項の規定により特別利用をしようとする者は、特別利用許可申請書（第 2 号様式）をあらかじめ館長に提出しなければならない。

2 館長は、特別利用を許可したときは、当該申請をした者に特別利用許可書（第 3 号様式）を交付するものとする。

3 館長は、特別利用を許可するときは、次に掲げる条件を付することができる。

- (1) 条例第 3 条第 1 号に規定する美術作品等（以下「美術作

品等」という。）の模写、模造、撮影若しくは原板使用によって得たもの（以下「模写資料等」という。）を展示し、又は出版物等に掲載するときは、美術館の所蔵に係るものであることを、適切な方法で表示すること。

(2) 無断で模写資料等の再複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。

(3) 美術作品等を撮影したときは当該撮影によって得たフィルム等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。

(4) その他館長が必要と認める事項
（特別利用の不許可）

第 11 条 館長は、次に掲げる美術作品等については、特別利用を許可しない。

(1) 特別利用によって美術作品等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの

(2) 寄託された美術作品等で寄託者の同意を得ていないもの

(3) 著作権が存する美術作品等で著作権者の同意を得ていないもの

(4) その他館長が特別利用することを不相当と認めるもの

2 特別利用は、館長の指示に従って行わなければならない。
（観覧料等の減免）

第 12 条 条例第 12 条の規定により館長が観覧料等を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 観覧料

ア 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 1 条に規定する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合 全額

イ 児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）第 7 条第 1 項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧を行う場合 全額

ウ 川崎市の発行する福寿手帳の交付を受けている者が常設展の観覧を行う場合 全額

エ 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別援護法（昭和 38 年法律第 168 号）第 4 条第 1 項又は第 2 項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成 6 年法律第 117 号）第 2 条第 3 項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第 2 項の規定による精神障害者保健

- 福祉手帳等（以下「身体障害者手帳等」という。）の交付を受けている者（これらの者の介護者を含む。）が観覧を行う場合 全額
- オ その他館長が特に必要があると認める場合 その都度館長が定める額
- (2) 特別利用料
- ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額
- イ 私立の博物館、図書館、学校、研究所等がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額
- ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合 全額
- エ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額
- 2 前項第 1 号の規定による観覧料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては観覧料減免申請書（第 4 号様式）を、前項第 2 号の規定による特別利用料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては特別利用料減免申請書（第 5 号様式）を、あらかじめ館長に提出しなければならない。ただし、前項第 1 号ウの場合にあっては川崎市の発行する福寿手帳の、同号エの場合にあっては身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請書の提出に代えることができる。（観覧料等の還付）

第 13 条 条例第 13 条ただし書の規定により観覧料等を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 災害その他の事故により観覧又は特別利用ができない場合 全額
- (2) 管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の許可を取り消す場合 全額
- (3) 前 2 号に定めるもののほか、館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額
- （遵守事項）

第 14 条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 建物、附属設備又は美術作品等を汚損し、若しくは損傷し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。
- (2) 他人に迷惑をかけ、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (3) 展示会場において許可を受けないで、撮影、模写等を行わないこと。
- (4) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。
- (5) 前各号に定めるもののほか、館長が指定する事項
- （委任）

第 15 条 この規則の施行について必要な事項は、市民文化局長が定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 2 川崎市岡本太郎美術館協議会規則（平成 11 年川崎市教育委員会規則第 7 号）の規定により委嘱され、又は任命された委員で、この規則の施行の際現に在任する委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

附 則（平成 25 年 3 月 29 日規則第 26 号抄）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 2 改正前の規則の規定により調製した帳票で現に残存するものについては、当分の間、必要な箇所を訂正した上、引き続きこれを使用することができる。

附 則（平成 27 年 5 月 27 日規則第 49 号）

この規則は、平成 27 年 6 月 1 日から施行する。

規 則（平成 28 年 3 月 31 日規則第 25 号）

この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

第 1 号様式

第 2 号様式

第 3 号様式

第 4 号様式

第 5 号様式

平成 29 年度
川崎市岡本太郎美術館年報

2018 年 9 月発行
編集・発行／川崎市岡本太郎美術館
川崎市多摩区柘形 7-1-5
TEL 044-900-9898
印 刷 　／日本プロセス株式会社

TARO OKAMOTO
MUSEUM OF ART
KAWASAKI